

VP-F2100/VP-F2100N

取扱説明書

セットアップと使い方の概要編

- プリンターを使用可能な状態にするための準備作業と基本操作を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご利用ください。

ご使用の前に

4

安全上のご注意や各部の名称など、知っておいていただきたい事項を説明しています。

プリンターをセットアップする

16

部品の取り付けからプリンタードライバーのインストールまでの作業を説明しています。

給紙と排紙

27

給紙方法、連続紙や単票紙の仕様などを説明しています。

リボンカートリッジの交換

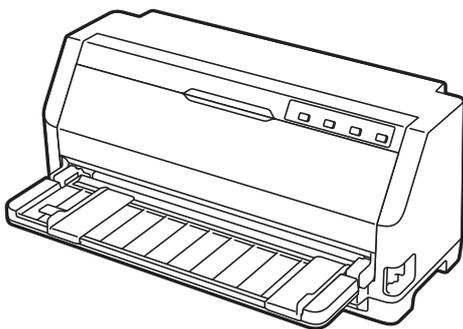
39

消耗品であるリボンカートリッジの交換手順を説明しています。

サービスとサポートのご案内

42

ソフトウェアディスク収録の『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）の見方や、サービス・サポートのご案内をしています。



414285800

マニュアルの見方

マークの意味

本書では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

注意 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足説明や参考情報を記載しています。

 関連した内容の参照ページを示しています。

電子マニュアルのご案内

電子マニュアルは、コンピューターから見るマニュアルです。本製品の使い方は、本書以外に以下の電子マニュアルで説明しています。

- 『取扱説明書 詳細編』
Windows からの印刷方法、使用できる用紙仕様、プリンター本体の設定に関する情報、オプション品や消耗品の情報、トラブルへの対処方法、製品仕様などを説明しています。
- 『ネットワークガイド』（VP-F2100Nのみ）
管理者向けにプリンターをネットワークで使用するときの設定方法やトラブルへの対処方法を説明しています。

電子マニュアルの開き方

デスクトップ上の [Epson Manuals] アイコンをダブルクリックします。アイコンがないときは、以下の手順で開いてください。

- Windows 11
[スタート]-[すべてのアプリ]の順に選択し、アプリの一覧から [EPSON Manuals] を選択します。
- Windows 10
[スタート] を選択し、アプリの一覧から [Epson Software] - [Epson Manuals] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
チャームを表示し、[検索] で [Epson Manuals] と入力してください。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
[スタート] - [すべてのプログラム (またはプログラム)] - [Epson Software] - [Epson Manuals] の順に選択します。

給紙方法の呼称

本書で説明する給紙方法と操作パネルの画面およびプリンタードライバー上の表記は以下のようになります。

給紙方法	プリンタードライバーの表記
単票紙を用紙ガイドから手差し給紙する	手差し
連続紙をプッシュトラクターから給紙する	プッシュトラクター

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Reader は Adobe (アドビ) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

Windows の表記

本書では、以下の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ [Windows 11] [Windows 10] [Windows 8.1] [Windows 8] [Windows 7] [Windows Vista] [Windows XP] [Windows Server 2022] [Windows Server 2019] [Windows Server 2016] [Windows Server 2012 R2] [Windows Server 2012] [Windows Server 2008 R2] [Windows Server 2008] [Windows Server 2003 R2] [Windows Server 2003] と表記しています。また、これらの総称として [Windows] を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い兼ねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適合に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- プリンタードライバーの画面は Windows 10 での表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- プリンター画面の設定項目は一例です。機種や設定状況によって異なります。
- QR コードは専用アプリで読み取れます。

もくじ

マニュアルの見方.....	2
ご使用の前に	4
製品使用上のご注意 ...	4
各部の名称と役割 ...	10
操作パネルの使い方と見方 ...	12
プリンターをセットアップする.....	16
セットアップの流れ ...	16
1. 付属品を確認する ...	18
2. 保護材を取り外す ...	18
3. 用紙ガイドを取り付ける ...	19
4. リボンカートリッジを取り付ける ...	20
5. 電源に接続する ...	22
6. 動作を確認する ...	23
7. コンピューターに接続する ...	24
8. プリンタードライバーと監視ユーティリティを インストールする ...	26
給紙と排紙	27
給紙経路と用紙 ...	27
連続紙の給紙と排紙 ...	30
単票紙の給紙と排紙 ...	33
連続紙と単票紙の切り替え ...	34
用紙が詰まったときは ...	35
リボンカートリッジの交換	39
サービスとサポートのご案内	42
電子マニュアルのご紹介と使い方 ...	42
各種サービス・サポートのご案内 ...	43
保守サービスのご案内 ...	44
アフターサポート・サービスのご案内.....	48

ご使用前に

本製品を安全にお使いいただくための情報と、本製品の部品名称一覧を記載しています。

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品の取扱説明書をお読みください。
本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

本製品の取扱説明書では、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害が想定される内容を示しています。
 してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	 電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
 分解禁止を示しています。	 濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
 製品が水に濡れることの禁止を示しています。	 必ず守っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
 特定の場所に触れることの禁止を示しています。	 アース接続して使用することを示しています。
 高温による傷害の可能性を示しています。	

設置に関するご注意

⚠警告



本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。

⚠注意



油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。



不安定な場所、ほかの機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。



本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。



本製品の組み立て作業（開梱、付属品の取り付けなど）は、梱包箱、梱包材、同梱品を作業場の外に片付けてから行ってください。
滑ったり、つまずいたりして、けがをするおそれがあります。



本機はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

本製品は次のような場所に設置してください。

- 水平で安定した場所
- 風通しの良い場所
- 気温（5～35℃）と湿度（10～80%）の場所

本製品は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

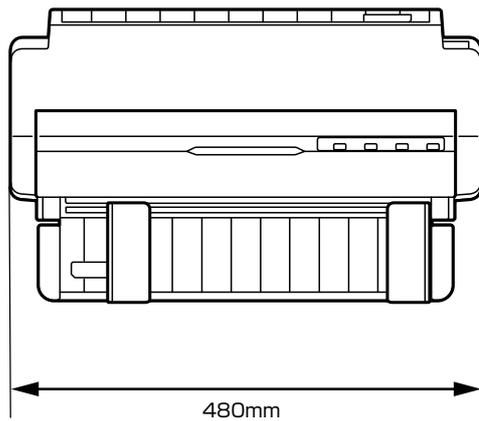
- 直射日光の当たる場所
- ホコリや塵の多い場所
- 温度変化や湿度変化の激しい場所
- 火気のある場所
- 水に濡れやすい場所
- 揮発性物質のある場所
- 冷暖房機具に近い場所
- 震動のある場所
- 加湿器に近い場所
- テレビ・ラジオに近い場所

！注意

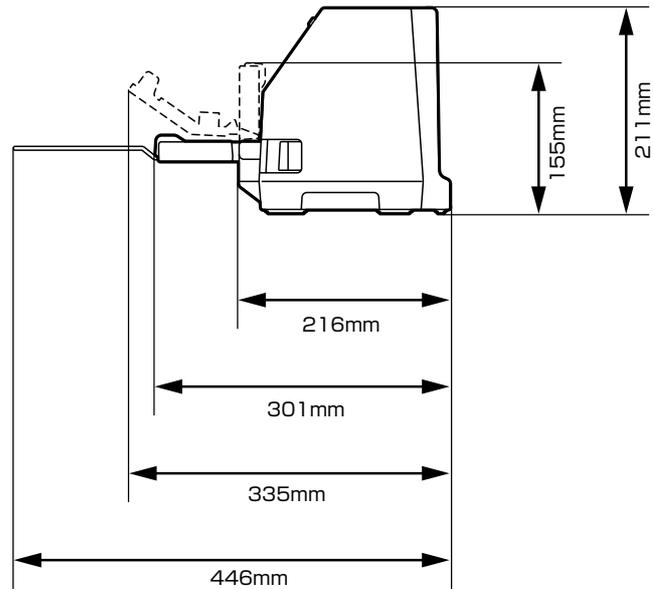
静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

- 本製品を「プリンター底面より小さい台」の上に設置しないでください。プリンター底面のゴム製の脚が台からはみ出ていると、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。必ずプリンター本体より広く平らな面の上にプリンターを設置してください。
- 本製品をプリンター台に設置する場合は、本体重量（約 6.9kg）に耐えられるプリンター台に設置してください。
- 用紙やリボンカートリッジの交換などが簡単にできるようにスペースを確保してください。
- 本製品の外形寸法は次の通りです（小数点以下四捨五入）。

上面図



側面図



電源に関するご注意

 警告	
 <p>AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。</p>
 <p>破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、修理のお申込み窓口へご相談ください。 修理のお申込み窓口の連絡先は、本書裏表紙をご覧ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを加工しない ● 電源コードに重いものを載せない ● 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない ● 熱器具の近くに配線しない 	 <p>漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。 アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。 電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コンセントのアース端子 ● 銅片などを65cm以上地中に埋めた物 ● 接地工事（D種）を行っている接地端子 <p>アース線の取り付け／取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店へご相談ください。</p>
 <p>次のような場所にアース線を接続しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ガス管（引火や爆発の危険があります） ● 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） ● 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません） 	 <p>電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>電源コードのたこ足配線はしないでください。 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。</p>	 <p>電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差ししたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。</p>
 <p>付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードをほかの機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。 コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。</p>

注意

 <p>長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>

取り扱い上のご注意

⚠警告

 <p>煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理のお申し込み窓口へご相談ください。 修理のお申し込み窓口の連絡先は本書裏表紙をご覧ください。</p>	 <p>異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理のお申し込み窓口へご相談ください。 修理のお申し込み窓口の連絡先は本書裏表紙をご覧ください。</p>
 <p>開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>	 <p>取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。</p>
 <p>可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。 引火による火災のおそれがあります。</p>	 <p>アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p>	 <p>製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。</p>
 <p>各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。 発火による火災のおそれがあります。また、接続したほかの機器にも損傷を与えるおそれがあります。</p>	

⚠注意

 <p>本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。</p>	 <p>使用中または使用直後に、プリンターカバーを開けたときはプリントヘッド部分に触れないでください。 高温になっているため、火傷のおそれがあります。</p>
 <p>各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。</p>	 <p>本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。</p>
 <p>印刷用紙の端を手でこすらないでください。 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。</p>	 <p>リボンカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。</p>
 <p>電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近づけないでください。 指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。</p>	 <p>インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。

さらに以下の点も注意してください。

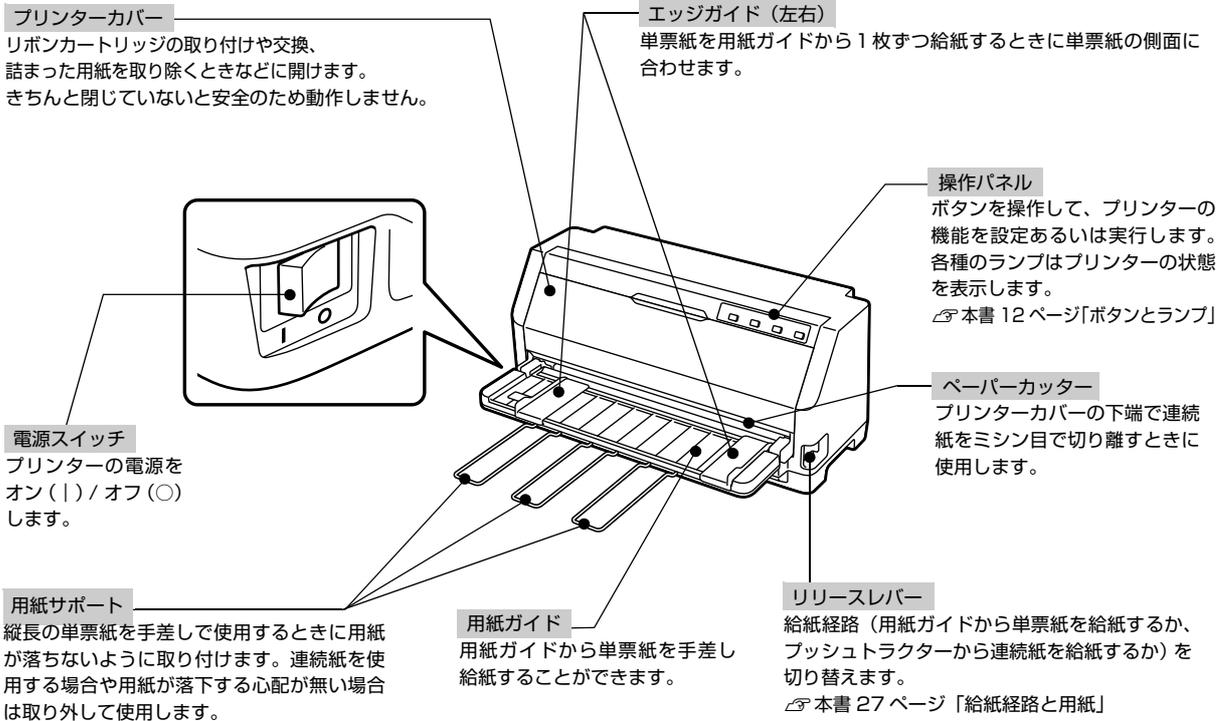
- 用紙やリボンカートリッジが取り付けられていない状態で印刷しないでください。
- 印刷中にプリンターカバーを開けないでください。
- 印刷中に電源を切らないでください。
- リボンがたるんだ状態で印刷しないでください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

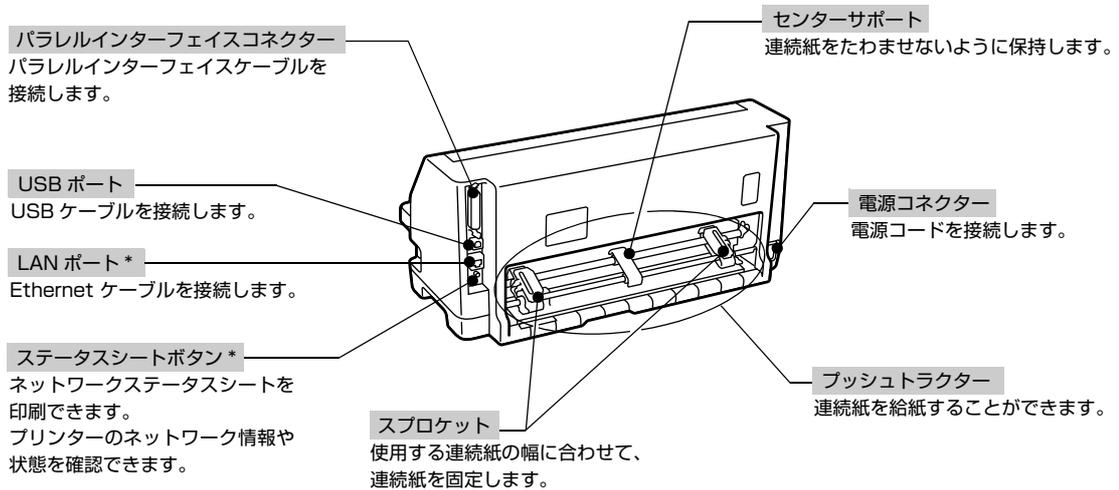
万一、本製品（添付のソフトウェアなども含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失など）は、補償いたしかねます。

各部の名称と役割

正面



背面



*: VP-F2100N のみ

内部

リボンカートリッジ

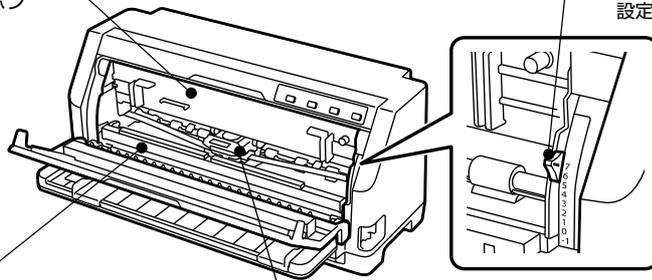
印字するためのリボンを収めたものです。印字が薄くなったら、リボンカートリッジを交換します。

用紙押さえローラー

リボン交換や紙詰まり除去の際に引き起こします。
☞本書 39 ページ「リボンカートリッジの交換」
通常はセット状態で使用します。

アジャストレバー

用紙の厚さや枚数に合わせて印字面とプリントヘッドの間隔を調整します。
☞本書 29 ページ「アジャストレバーの設定」



プリントヘッド

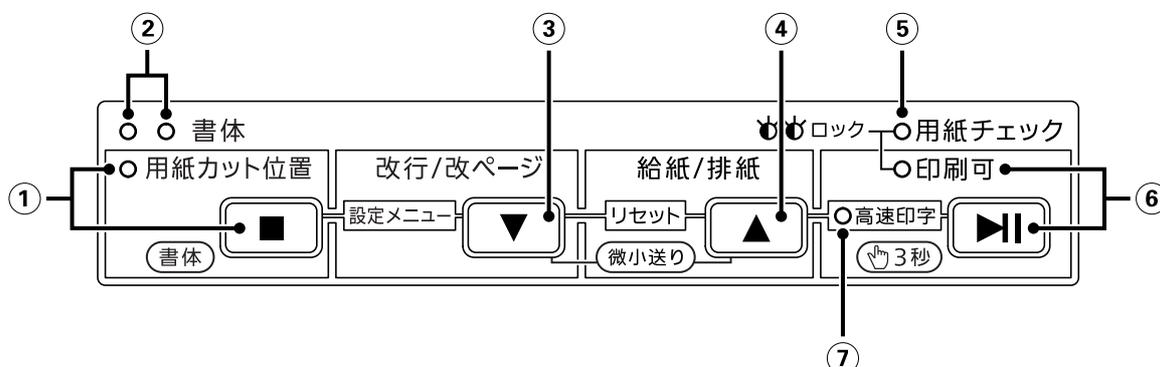
印刷をする部分です。
精密部品ですのでネジを緩めたり分解したりしないでください。

⚠注意

印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。
温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

操作パネルの使い方と見方

ボタンとランプ



ランプの表記 ●:点灯 ○:消灯 ◐:点滅

① [用紙カット位置] ボタン [■]* とランプ (青)

印刷終了後、[用紙カット位置] ボタン [■] を押すと連続紙が用紙カット位置に紙送りされます。

ランプ	概要
◐	連続紙が用紙カット位置にあるときにランプが点滅します。
○	用紙カット位置以外の位置にあるときは消灯します。

☞ [取扱説明書 詳細編] (電子マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」

② [書体] ランプ (青)

[印刷可] ボタンを 3 秒以上押すと、[印刷可] ランプが点滅し、微小送りモード / 書体選択モードになります。

書体選択モードでは [書体] ボタン ([用紙カット位置] ボタン) で書体を選択します。

ランプ	設定値 / 状態	ボタンの動作
●●	自動	お使いのアプリケーションソフトがプリンターの内蔵書体を直接選択できるときは選択した書体で印刷します。アプリケーションソフトから選択できないときは漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
●○	明朝	漢字は明朝体、英数カナ文字はエプソンローマンで印刷します。
○●	ゴシック	漢字はゴシック体、英数カナ文字はエプソンサンセリフで印刷します。

参考 書体の設定は、プリンターの内蔵書体で印刷する場合のみ有効です。オペレーティングシステムやアプリケーションソフトで書体 (TrueType フォントなど) を指定できるときは、このボタンの設定よりソフトウェアの設定が優先されます。本機能を使用される場合は、添付のデコレーションラベル (操作パネルメニュー) を貼り付けてご使用ください。
☞ 本書 15 ページ「デコレーションラベル」

プリンター内蔵書体の印字例

・明朝体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンローマン

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

・ゴシック体

東西南北春夏秋冬
セイコーエプソン
あいうえお

・エプソンサンセリフ

0123456789
ABCDEFGHIJKLMN
abcdefghijklmn

③ [改行 / 改ページ] ボタン[▼]*

- ボタンを短く押すと改行します。
- 連続紙が給紙されているときにボタンを押し続けると、改ページします。
- 単票紙が給紙されているときにボタンを押し続けると、排紙します。
- [給紙 / 排紙] ボタンと同時に押すと、プリンターをリセットします。
プリンターが受信したデータは、消去されます。

☞『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）－「付録」－「プリンターの仕様」－「初期化」

④ [給紙 / 排紙] ボタン[▲]*

- 連続紙をプッシュトラクターにセットした状態でボタンを押すと、給紙します。印刷位置に給紙されている状態でボタンを押すと、プッシュトラクター位置へ排紙します。
- 単票紙が印刷位置にある状態でボタンを押すと、排紙します。
- [改行 / 改ページ] ボタンと同時に押すと、プリンターをリセットします。
プリンターが受信したデータは、消去されます。

☞『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）－「付録」－「プリンターの仕様」－「初期化」



参考

用紙ガイドから給紙する場合は [給紙 / 排紙] ボタンを押す必要はありません。用紙をセットして用紙の先端が奥に当たると自動的に差し込むと用紙は自動給紙されます。

⑤ [用紙チェック] ランプ(オレンジ)

ランプ	概要
	用紙がない、またはリリースレバーの設定に問題があります。
	用紙が詰まった、または正常に排紙されませんでした。 パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると [印刷可] ランプと共に 3 秒間点滅します。

⑥ [印刷可] ボタン[▶|] * とランプ(青)

ランプ	設定値 / 状態	ボタンの動作
	印刷可	印刷可能な状態です。印刷可能状態でボタンを短く（3 秒未満）押すと、待機に変わります。
	待機	印刷できない状態です。ボタンを短く（3 秒未満）押すと、印刷可能な状態になります。印刷の途中でボタンを押すと印刷が中断します。印刷を再開するには、もう一度ボタンを押します。
	微小送りモード / 書体選択モード	3 秒以上押すと、ランプが点滅し、微小送りモード / 書体選択モードになります。 [▲] ボタンを押すと、用紙はプッシュトラクター側へ移動します。 [▼] ボタンを押すと、用紙は用紙ガイド側へ移動します。 ☞『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」 [書体] ボタンを押すと、書体を変更します。 微小送りモード / 書体選択モードを終了させるには、[印刷可] ボタンを短く押します。
	パネルロックアウトモード	パネルロックアウトモードがオンのとき、ロックされた操作をすると [用紙チェック] ランプと共に 3 秒間点滅します。

⑦ [高速印字] ランプ(青)

[印刷可] ボタンと [給紙 / 排紙] ボタンを同時に押すと、高速印字を指定 / 解除します。

ランプ	概要
	高速印字が指定されています。文字パターンのドットを間引きして、通常より高速に印字します（DOS 環境下で有効）。
	高速印字が解除されています。

* : ボタン名称と刻印を併記していますが、以降のページでは用紙操作をボタン名称で、パネルメニュー操作を刻印で表記しています。

ランプ表示によるプリンター状態

パネルランプの状態	ブザー鳴動パターン	問題
		対処方法
○ [印刷可] ランプ ● [用紙チェック] ランプ	(単票紙) ●●● (連続紙) -----	用紙がセットされていません。
		本書 27 ページ「給紙と排紙」を参照して、用紙を正しくセットします。
○ [印刷可] ランプ	-----	リリースレバーの設定が間違っています。
		リリースレバーを適切な位置に設定します。 ☞ 本書 27 ページ「給紙経路と用紙」
○ [印刷可] ランプ ● [用紙チェック] ランプ	-----	完全に排紙されていません。
		[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。
	-----	用紙が詰まっています。
		本書 35 ページ「用紙が詰まったときは」を参照して、詰まった用紙を取り除きます。
● [印刷可] ランプ	-	プリントヘッドが許容範囲を超えた高温になっています。
		[印刷可] ランプの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。ヘッドの温度が下がると自動的に印刷を再開します。
○ [印刷可] ランプ ○ [用紙チェック] ランプ	-----	プリンターカバーが開いています。操作を中止してプリンターカバーを閉じます。
● [印刷可] ランプ ● [用紙チェック] ランプ ● [用紙カット位置] ランプ ● [高速印字] ランプ ● [書体] ランプ	●●●● ●●●●	不明なプリンターエラーが発生しました。
		プリンターの電源を切って数分放置後、再度プリンターの電源を入れてください。それでもエラーが発生するときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソン修理のお申込み窓口へご相談ください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

●: 点灯 ○: 消灯 ●: 点滅

●●● = 短い断続音 (ビッピッピッ)

----- = 長い断続音 (ビービービービー)

- = ブザー鳴動なし

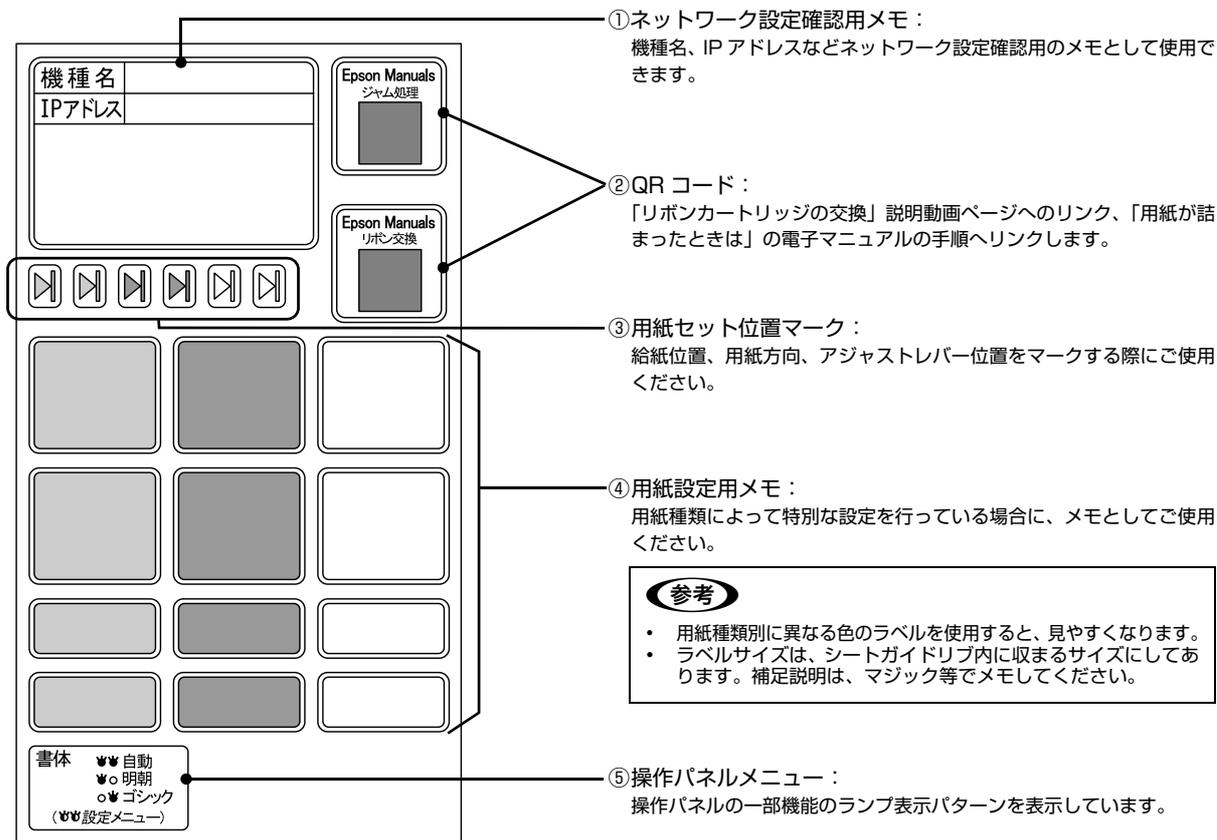
●●●● ●●●● = 短い断続音 (ビッピッピッピッピッ ビッピッピッピッピッ)

デコレーションラベル

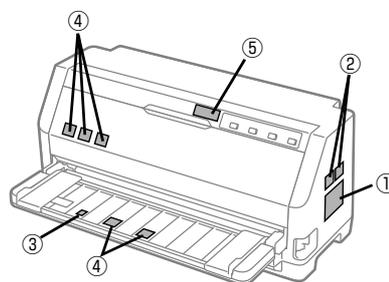
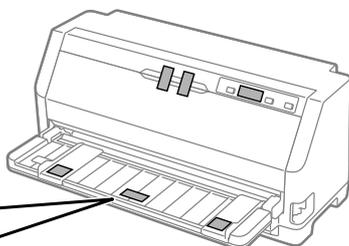
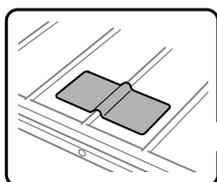
本製品には、パネル操作の機能のランプ表示パターンや、リボンカートリッジの交換 / 紙ジャム除去のページへのリンク (QR コード) が記載されているラベルが同梱されています。必要に応じて貼り付けて使用してください。

！注意

デコレーションラベルを使用される場合は、本製品の目立つところに貼り付けてください。
印刷時に用紙と干渉する箇所や、可動部に貼り付けないようにしてください。



ラベル貼り付け位置の例：



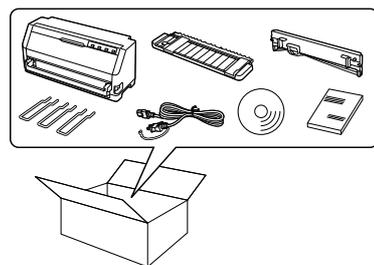
プリンターをセットアップする

プリンターを箱から取り出し、プリンターが使用できるようにセットアップします。

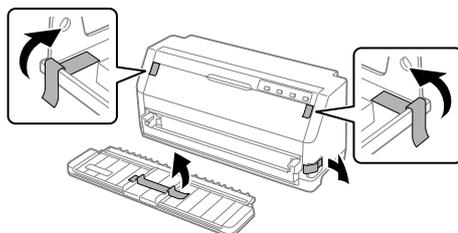
セットアップの流れ

セットアップは以下の手順で行います。

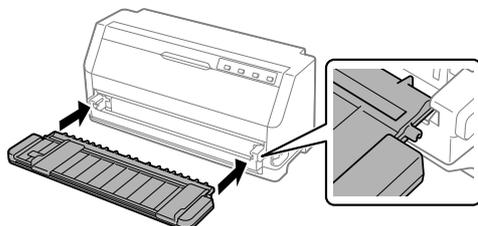
1 付属品を確認する  18 ページ



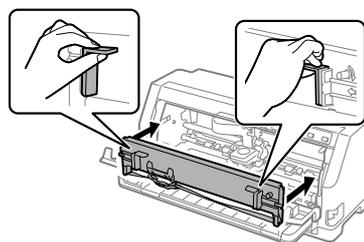
2 保護材を取り外す  18 ページ



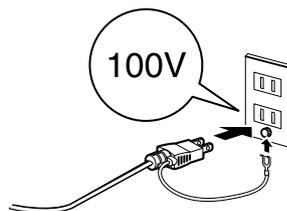
3 用紙ガイドを取り付ける  19 ページ



4 リボンカートリッジの取り付け  20 ページ



5 電源に接続する  22 ページ



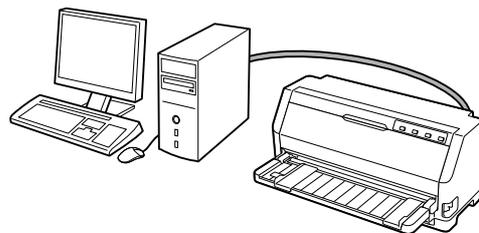
6 動作を確認する 23 ページ

プリンターが問題なく使用できるかどうかを確認します。



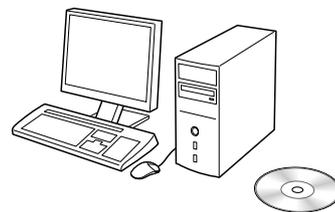
7 コンピューターに接続する 24 ページ

お手持ちのケーブルでプリンターとコンピューターを接続します。



8 プリンタードライバーと監視ユーティリティをインストールする 26 ページ

Windows で使用するには、同梱のソフトウェアディスクに収録されているプリンタードライバーやユーティリティソフトなどをコンピューターにインストールする必要があります。

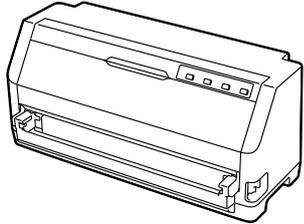


1. 付属品を確認する

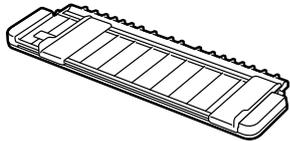
次のものがそろっていること、それぞれに損傷のないことを確認してください。

不足品や損傷しているものがございましたら、お買い求めいただいた販売店へご連絡ください。

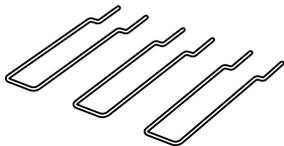
□ プリンター本体



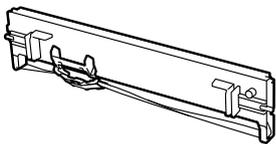
□ 用紙ガイド



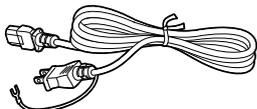
□ 用紙サポート



□ リボンカートリッジ



□ 電源コード

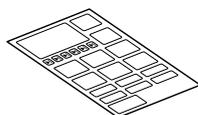


□ ソフトウェアディスク



□ VP-F2100/VP-F2100N 取扱説明書
セットアップと使い方の概要編（本書）

□ デコレーションラベル



上記同梱品のほかに、各種ご案内が同梱されている場合がありますので、ご了承ください。

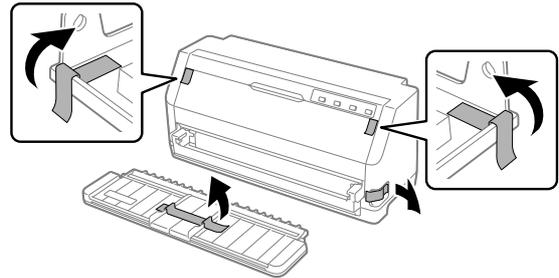
2. 保護材を取り外す

プリンター輸送時の衝撃から守るために、保護材がプリンターに取り付けられています。

全ての保護材とテープ（青色）を取り外してください。

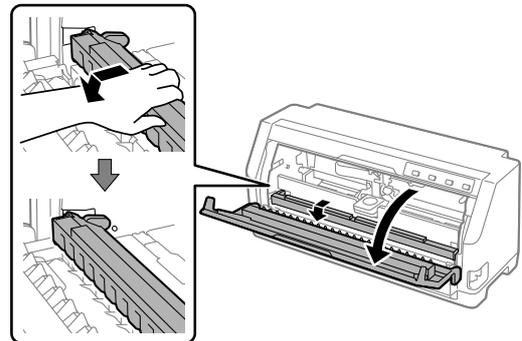
保護材の形状や個数、貼り付け場所などは予告なく変更されることがあります。

1 テープをはがします。

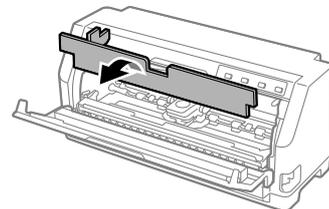


2 プリンターカバーを開け、用紙押さえローラーを手前に引き出す。

用紙押さえローラーの前部が下に沈み込んで固定されるまで引き出します。



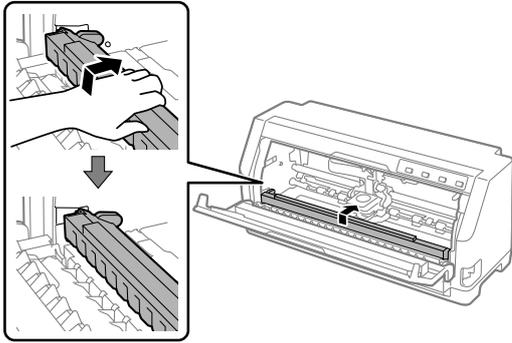
3 保護材を取り外します。



4

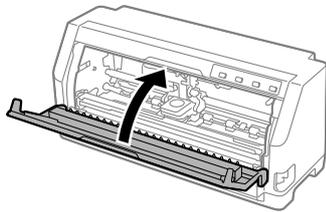
用紙押さえローラーを元の位置に戻します。

用紙押さえローラーを上を持ち上げると、後方に移動し元の位置に戻ります。



5

プリンターカバーを閉じます。



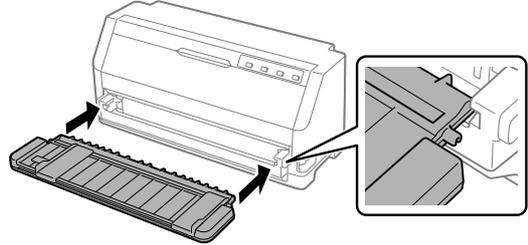
! 注意

- 梱包箱、梱包材、保護材などは、プリンターの再輸送時に必要です。大切に保管してください。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「付録」 - 「プリンターのお手入れと運搬」 - 「プリンターの運搬」
- 上記以外にも、保護材があった場合は、取り外してください。

3. 用紙ガイドを取り付ける

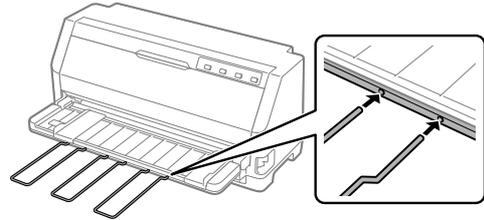
用紙ガイドをプリンターに取り付けます。

用紙ガイドを両手で持ち、左右のガイドをプリンターの溝に合わせて取り付けます。



以上で用紙ガイドの取り付けは終了です。

用紙ガイドからはみ出す単票紙を手差し給紙する場合は、用紙サポートを図のように取り付けます。



4. リボンカートリッジを取り付ける

同梱されているリボンカートリッジをプリンターに取り付けます。リボンカートリッジを乱暴に扱くと印字不良の原因となりますので、ていねいに扱ってください。

！注意

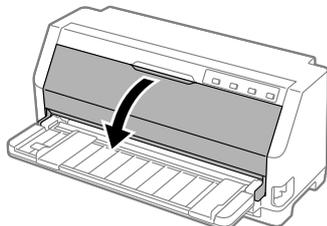
- プリンターの電源を入れたまま作業を行うと故障の原因になります。必ず電源を切ってから行ってください。
- リボンカートリッジ取り付け時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。



1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

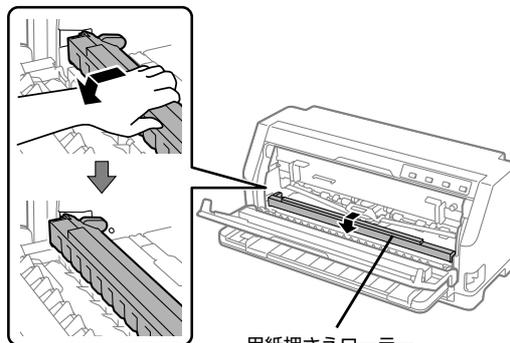
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。

2 プリンターカバー上部に指をかけ、ゆっくりと手前に倒してプリンターカバーを開けます。



3 用紙押さえローラーを手前に引きます。

用紙押さえローラーの前部が下に沈み込んで固定されるまで引き出します。



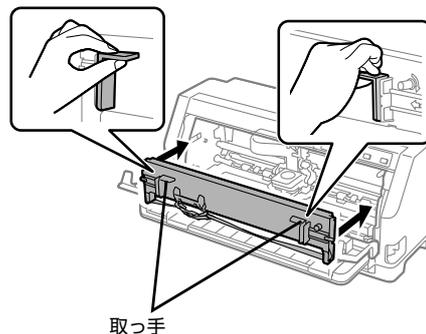
用紙押さえローラー

4 リボンカートリッジを袋から取り出します。

5 リボンカートリッジの左右の取っ手を持ち、プリンターに取り付けます。

プリンター両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。

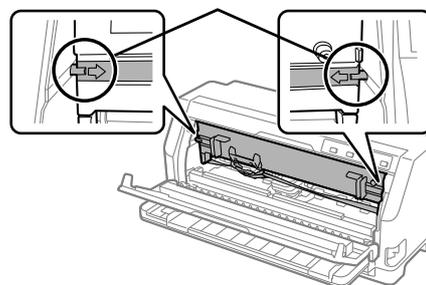
リボンカートリッジの両端を軽く押し、傾きやがたつきのないことを確認してください。



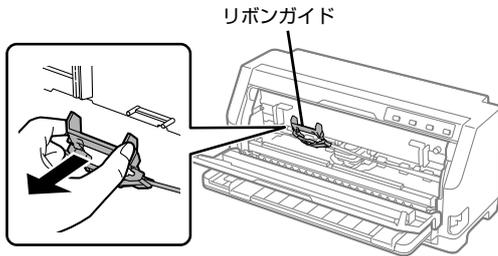
取っ手



固定

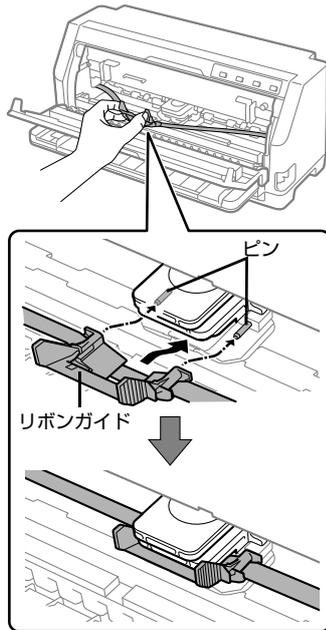


- 6** リボンガイドをリボンカートリッジから外します。
リボンガイドの両端を持ち、手前に引いて外します。
(図はリボンガイドを外した状態です。)



参考
リボンガイドの両端以外を持つと、インクで手が汚れる場合があります。

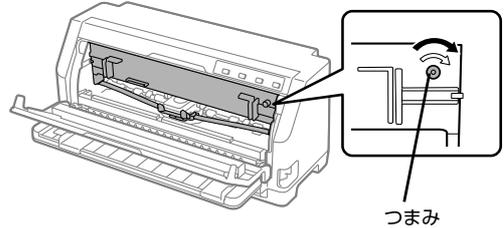
- 7** リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。
リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドのガイドのピンに合わせて止まるまで奥に押し込みます。



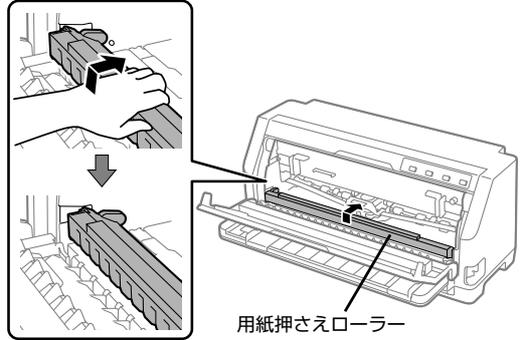
参考
リボンガイドの両端以外を持つと、インクで手が汚れる場合があります。

！注意
リボンガイドを押し込むとき、リボンがねじれないように注意してください。

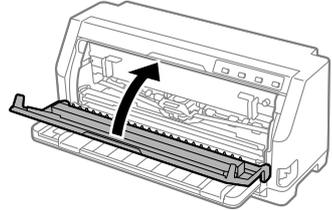
- 8** リボンのたるみを取ります。
リボンカートリッジのつまみを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くのを確認してください。



- 9** 用紙押さえローラーを元の位置に戻します。
用紙押さえローラーを上を持ち上げると、後方に移動し元の位置に戻ります。



- 10** プリンターカバーを閉じます。



△注意
プリンターカバーがしっかり閉まらない場合、用紙押さえローラーが元の位置に戻っていないおそれがあります。手順「9」を再確認ください。

以上でリボンカートリッジの取り付けは終了です。

5. 電源に接続する

電源コードを電源コンセントに接続します。

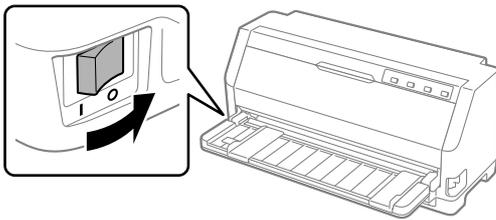
⚠注意

「ご使用前に」をお読みいただき、正しく取り扱ってください。

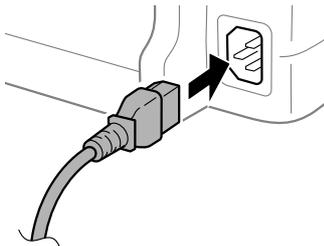
📖 本書 4 ページ「ご使用前に」

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。

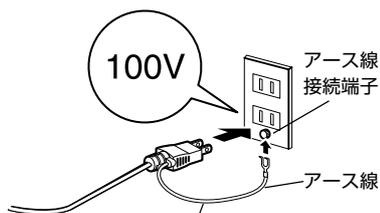
電源が切れているときは、操作パネルのランプが消えています。



2 プリンター背面の電源コネクタに電源コードを差し込みます。



3 AC100V のコンセントに電源コードのプラグを正しく差し込みます。



アース線は、コンセントにアース線の接続端子がある場合のみ接続します。

参考

漏電による事故防止について

本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接地端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店へご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

！注意

- 電源プラグをコンピューター背面のコンセントに接続しないでください。
- 電源の切/入は、5 秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。
- 印刷の途中で電源を切らないでください。

6. 動作を確認する

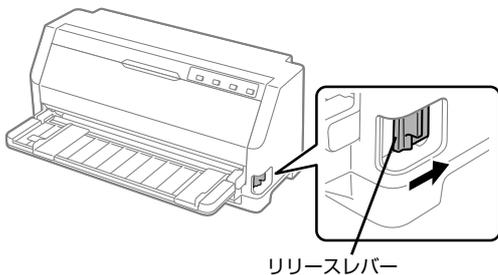
プリンターが正常に動作するかどうかをプリンター内蔵の印字パターンを印刷して確認します。A4 または A3 サイズの単票紙を用意してください。

参考

動作の確認は連続紙（用紙幅 304.8mm（12 インチ））でもできます。連続紙のセットの仕方については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 30 ページ「連続紙の給紙と排紙」

- 1 リリースレバーを奥側にスライドさせて、単票紙側（）に切り替えます。



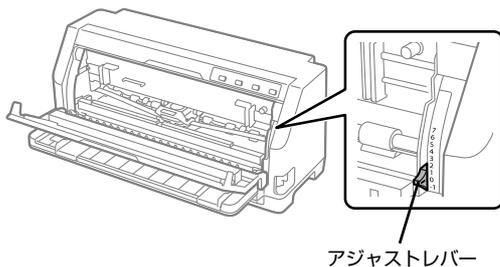
注意

プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

- 2 プリンターカバーを開け、アジャストレバーを「0」に設定し、プリンターカバーを閉じます。

1 枚の単票紙や連続紙に印字する場合は「0」に設定してください。それ以外の用紙に印字する場合は、以下のページを参照してください。

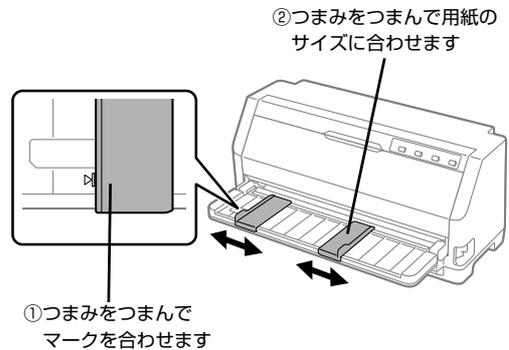
☞ 本書 29 ページ「アジャストレバーの設定」



アジャストレバーを設定したら、プリンターカバーを閉じます。

- 3 エッジガイドの位置を調整します。

エッジガイド（左）を用紙ガイドのマーク（）に合わせて、エッジガイド（右）を使用する用紙の幅に合わせてみます。

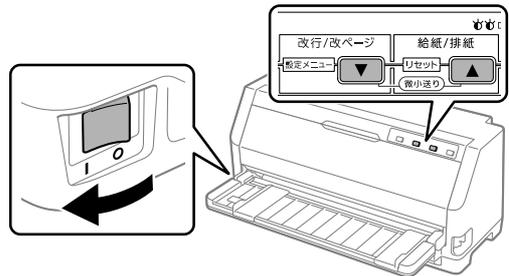


- 4 [▼] または [▲] どちらかのボタンを押したまま電源を入れます。

- [▼] ボタン：
英数カナ文字モード印字をします
- [▲] ボタン：
漢字モード印字をします

3秒ほど待ってから、[▼] または [▲] ボタンを離してください。

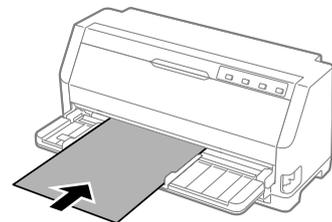
[用紙チェック] ランプが点灯します。



- 5 単票紙を手差し給紙して、動作確認を実行します。

エッジガイドに沿って、単票紙を差し込みます。A4 の場合は横、A3 の場合は縦に差し込みます。

単票紙の先端が突き当たるまで差し込むと、自動的に給紙して動作確認を実行します。



印刷結果の例は次のようになります（一部抜粋してあります）。

• 漢字モード

```

...  . .  °  ;  ‘  ’  :  ;
∞  .:  ♂  ♀  °  ‘  ”  °C
↑  ↓  ≡  €  ∃  ⊆  ⊇  ⊂
#  ♪  ♫  ♯  ♯  ♯  ○  0
S  T  U  V  W  X  Y  Z

```

• 英数カナ文字モード

```

! " # $ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6
! " # $ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7
" # $ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8
# $ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
$ % & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 :
% & ' ( ) * + , - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; ;

```

参考

- 印刷中に [▶] ボタンを押すと印刷は停止します。再度押すと印刷を再開します。用紙は手前に排紙されます。
- 1枚目の印刷が終了し、続いて2枚目の用紙に印刷する場合は、次の用紙をセットすると自動的に印刷します。

6 動作確認を終了します。
 [▶] ボタンが押されるまで印刷は繰り返して行われます。[▶] ボタンを押して印刷を中止し、電源を切ります。プリンターに用紙が残っているときは、[給紙 / 排紙] ボタンを押して用紙を排紙してから電源を切ってください。

！注意
 電源の切/入は、5秒程度待ってから行ってください。切/入の間隔が短すぎるとプリンターの電源部が故障するおそれがあります。

7 印刷の状態を確認します。
 5の印刷結果のように印刷されていればプリンターは正常に機能しています。

手順通りに実行しても印刷できない、プリンターが動作しない、などのトラブルが発生したときは「取扱説明書 詳細編」（電子マニュアル）を参照して解決してください。
 本書 42 ページ「電子マニュアルのご紹介と使い方」Windows 環境でお使いの場合は、続いてプリンタードライバーなどをインストールします。

7. コンピューターに接続する

本製品は、パラレルインターフェイスケーブルまたは USB ケーブルでコンピューターにローカル接続するか、VP-F2100N では、Ethernet ケーブルでネットワークに接続することができます。

ローカル接続

本製品は、以下の接続方法でコンピューターとローカル接続してください。

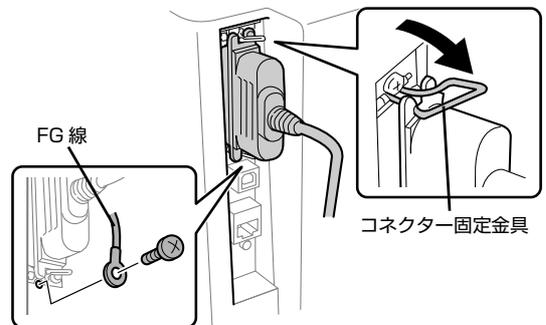
- パラレル接続
- USB 接続

参考
 お使いのコンピューターや接続環境によって使用するケーブルが異なるため、同梱されていません。別途ご用意ください。以下の純正ケーブルの使用をお勧めします。純正品以外のケーブルを使用すると、正常に印刷できない場合があります。

- パラレルインターフェイスケーブル：型番 PRCB4N
- USB ケーブル：型番 USB CB2

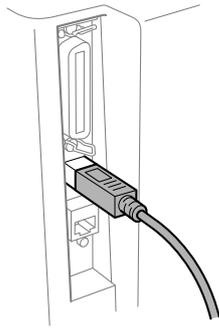
- 1 プリンターとコンピューターの電源が切れていることを確認します。
- 2 インターフェイスケーブルをプリンター背面のコネクターに接続します。

パラレルインターフェイスケーブル:



パラレルインターフェイスケーブルをプリンター側のパラレルインターフェイスコネクターにしっかり差し込み、上下のコネクター固定金具を内側に倒して固定します。
 ケーブルに FG 線（グラウンド線）* が付いているときは、コネクターの下にある FG 線取り付けネジを使って接続します。
 * FG（グラウンド）線：プリンターとコンピューターとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続する線。

USB ケーブル:



USB ケーブルをプリンター側の USB インターフェイスケーブルコネクタにしっかり差し込みます。

3 もう一方のコネクタをコンピューターのコネクタに差し込みます。

以上でコンピューターとの接続は終了です。
コンピューター側の接続については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

参考

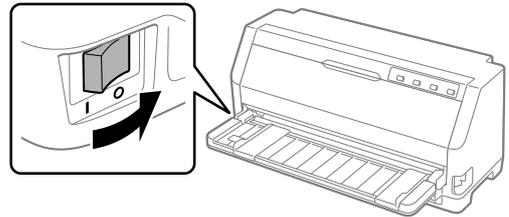
- USB ケーブルの場合は、以下の点をご確認ください。
- ケーブルのコネクタには、表裏があります。差し込み口の形状に合わせて差し込んでください。
 - USB ケーブルの差し込み口が複数ある場合は、どこに差し込んで問題ありません。
 - USB ハブを使用する場合は、コンピューターに一番近い USB ハブへ接続してください。

ネットワーク接続(VP-F2100N のみ)

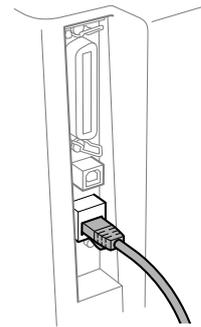
! 注意

- 本製品の電源を入れた状態で、ネットワークケーブルを抜き差ししないでください。
- ネットワークへは 10BASE-T/100BASE-TX どちらでも接続できますが、ネットワーク機能を最高のパフォーマンスに保つためには、100BASE-TX の最速ネットワークを、ネットワーク負荷の軽い環境で使用されることをお勧めします。
- 100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- ネットワークに有線で接続するときは HUB をお使いください。HUB を使わずにクロスケーブルで接続することはできません。
- 一部スイッチング HUB では正常に動作しないことがあります。その場合はスイッチング HUB と本製品の間で自動切り替えのない HUB を入れるなどの方法をお試しください。

1 プリンターの電源が切れていることを確認します。



2 Ethernet ケーブルを接続します。

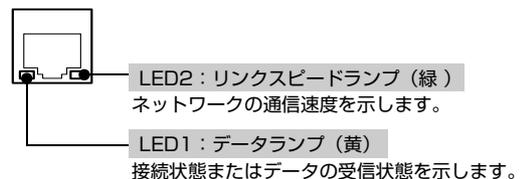


3 ケーブルのもう一方のコネクタを、HUB の空いているポートに差し込みます。

コンピューターへのケーブルの接続については、コンピューターの取扱説明書を参照してください。

以上でコンピューターとの接続は終了です。

ランプの状態



LED1	LED2	状態
点灯	点灯	100BASE-T で接続中
点滅		100BASE-T でデータ受信中
点灯	消灯	10BASE-T で接続中
点滅		10BASE-T でデータ受信中
消灯	消灯	スリープモード
消灯	消灯	未接続

8. プリンタードライバーと監視ユーティリティをインストールする

Windows プリンタードライバーやプリンター監視ユーティリティ (EPSON ステータスマニタ 3) などのソフトウェアをインストールします。

最新の OS 対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

< <https://www.epson.jp/support/taiou/os/> >

1 プリンターの電源が入っていないことを確認します。

2 ソフトウェアディスクをセットしてください。

3 画面の指示に従って作業を進めます。

EPSON ステータスマニタ 3 をインストールするときは、インストールするソフトウェアの選択画面で選択されていることを確認してください。

参考

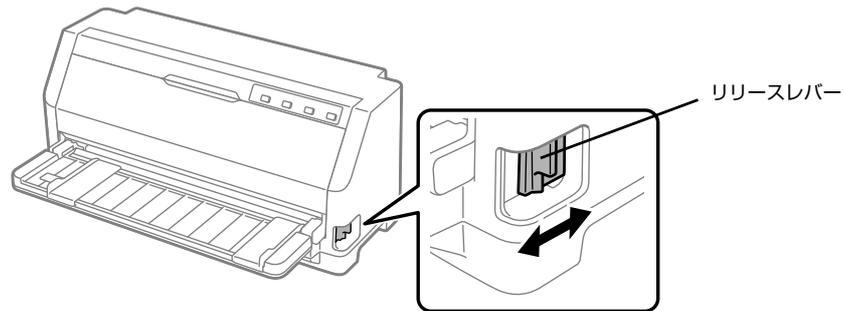
- EPSON ステータスマニタ 3 は、プリンターの状態を監視してエラーメッセージなどを画面に表示するユーティリティです。監視できるプリンターの接続形態は以下です。
 - パラレル接続または USB 接続でのローカルプリンター
 - Windows 共有プリンター
 - TCP/IP 接続プリンター (VP-F2100N)双方向通信をサポートしていないコンピューターでは使用できません。
- Windows プリンタードライバーを使用しない特殊なアプリケーションソフトをお使いの場合に、プリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールすると正常に印刷されなくなることがあります。このような環境ではプリンタードライバーや EPSON ステータスマニタ 3 をインストールしないようにしてください。
- 最新のドライバーやユーティリティについてはエプソンのウェブサイトをご覧ください。
< <https://www.epson.jp/support/download/> >

給紙と排紙

本製品の給紙経路、使用できる用紙とセット方法を説明します。

給紙経路と用紙

プリンター右側のリリースレバーをスライドさせることにより、給紙経路を切り替えることができます。



参考

リリースレバーを切り替えるときは、止まるまでスライドさせてください。

用紙種類	給紙経路	リリースレバー	給紙方法
連続紙 <ul style="list-style-type: none"> 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙） 複写紙は最大7枚（オリジナル＋6枚）まで可 連続ラベル紙の台紙への印刷は不可 			プリンター背面のプッシュトラクターから給紙します。
単票紙 <ul style="list-style-type: none"> 上質紙、再生紙、複写紙（ノンカーボン紙、裏カーボン紙） 複写紙は最大7枚（オリジナル＋6枚）まで可 単票ラベル紙の台紙への印刷は不可 			用紙ガイドから手差し給紙します。

参考

連続紙をセットしたままの状態でも単票紙の給紙に切り替えることができます。
給紙経路を切り替える場合は、連続紙をプッシュトラクター位置まで戻してからリリースレバーをスライドさせてください。
☞ 本書 34 ページ 「連続紙から単票紙への切り替え」

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙は下表の通りです。用紙仕様の詳細や注意事項、使用できない用紙の情報は『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）に掲載されています。

☞『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）－「印刷できる用紙」

●連続紙(連続複写紙)

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙、再生紙	ノンカーボン紙 裏カーボン紙 (オリジナル+6枚まで)
用紙幅	101.6～304.8mm (4～12インチ)	
ページ長	76.2～558.8mm (3～22インチ)	
折り畳み長	101.6～558.8mm (4～22インチ)	
用紙厚	0.065～0.15mm	0.12～0.49mm
用紙連量	45～110kg (坪量 52～128g/m ²)	34～50kg (坪量 40～58g/m ²) (1枚当たり)

※ 用紙連量は、四方判紙(788×1091mm²) 1000枚の質量をkgで表したものです。

※ 坪量は、紙1枚の1平方メートル当たりの質量をg/m²で表したものです。

参考

プリンタードライバーでの、連続紙の「用紙サイズ」の設定は以下を参考にしてください。

- ① 用紙の横のサイズと縦(ミシン目とミシン目の間)を計ります。
- ② プリンタードライバー上では、inch単位でサイズが表示されるため、計ったサイズをinch単位に置き換えます(1inchは、約25.4mmです。ここでは、仮に横8inch×縦4.67inchの用紙とします)。
- ③ プリンタードライバーの【用紙サイズ】リストから、8×4.67inchに合うサイズとして、「10×4 2/3inch」を選択します。プリンタードライバー上では、4.67inchを4 2/3inchと分数で表現しています。

●連続ラベル紙

項目	詳細
品質	上質紙
台紙幅	101.6～304.8mm (4～12インチ)
台紙ページ長	101.6～558.8mm (4～22インチ)
用紙厚 (台紙含む)	0.16～0.19mm(台紙0.07～0.09mm)
用紙連量	55kg (坪量 64g/m ²)

※ 用紙連量は、四方判紙(788×1091mm²) 1000枚の質量をkgで表したものです。

※ 坪量は、紙1枚の1平方メートル当たりの質量をg/m²で表したものです。

●単票紙(単票複写紙)

項目	一枚紙	複写紙
品質	上質紙*、再生紙	ノンカーボン紙 裏カーボン紙 (オリジナル+6枚まで)
用紙幅	90～304.8mm (3.5～12.0インチ)	
用紙長	70～420mm (2.8～16.5インチ) (1枚紙および天のり綴じの場合)	
	70～297mm (2.8～11.7インチ) (横のり綴じの場合)	
用紙厚	0.065～0.19mm	0.12～0.49mm
用紙連量	45～135kg (坪量 52.3～157g/m ²)	34～50kg (坪量 40～58g/m ²) (1枚当たり)

*: 本書では、上質紙、普通紙、PPC用紙を総称として、上質紙と表記します。

※ 用紙連量は、四方判紙(788×1091mm²) 1000枚の質量をkgで表したものです。

※ 坪量は、紙1枚の1平方メートル当たりの質量をg/m²で表したものです。

使用できる定形紙とセット方向は下表の通りです。

用紙サイズ	1枚紙	複写紙
A3 (297×420mm)	縦長	縦長*
A4 (210×297mm)	縦長、横長	縦長、横長
A5 (148×210mm)	縦長、横長	縦長、横長
A6 (105×148mm)	縦長、横長	縦長、横長
B4 (257×364mm)	縦長	縦長*
B5 (182×257mm)	縦長、横長	縦長、横長

*: 天のり綴じのみ使用可。

●単票ラベル紙

項目	詳細
品質	上質紙
台紙幅	100～210mm (3.9～8.3インチ)
台紙ページ長	100～297mm (3.9～11.7インチ)
用紙厚 (台紙含む)	0.16～0.19mm(台紙0.07～0.09mm)
用紙連量	55kg (坪量 64g/m ²)

※ 用紙連量は、四方判紙(788×1091mm²) 1000枚の質量をkgで表したものです。

※ 坪量は、紙1枚の1平方メートル当たりの質量をg/m²で表したものです。

●ハガキ

項目	詳細	
品質	郵便ハガキ (通常ハガキ)	郵便往復ハガキ
用紙幅	100mm	148mm
用紙長	148mm	200mm
用紙厚	0.22mm	

●封筒

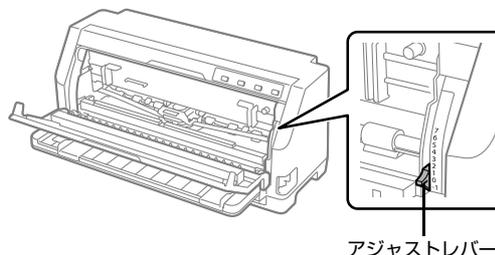
項目	詳細
品質	クラフト紙、ケント紙
用紙厚(総厚)*	0.12 ~ 0.46mm

*：ただし、印字推奨領域内における紙厚差は 0.25mm (0.01 インチ) 以下とします。

アジャストレバーの設定

給紙する用紙の厚さに合わせてアジャストレバーを設定します。

アジャストレバーの操作は、プリンターカバーを開けてから行ってください。



用紙の種類・枚数	アジャストレバーの設定値									
	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	
1枚紙	連続紙	○	○*1							
	単票紙	○	○	○*2						
複写紙	2枚紙		○	○						
	3枚紙			○	○					
	4枚紙				○	○				
	5枚紙					○	○	○		
	6枚紙								○	
	7枚紙									○
ラベル				○*3						
ハガキ				○						
紙厚	0.06 ~ 0.10mm	0.06 ~ 0.12mm	0.12 ~ 0.19mm	0.19 ~ 0.26mm	0.26 ~ 0.32mm	0.32 ~ 0.36mm	0.36 ~ 0.40mm	0.40 ~ 0.44mm	0.44 ~ 0.49mm	

*1：連続紙の1枚紙の紙厚は 0.065 ~ 0.10mm です。

*2：単票紙の1枚紙の紙厚は 0.065 ~ 0.14mm です。

*3：ラベル紙は紙厚0.16~0.19mmのものが使用可能ですが、ラベルのはがれ等を防止するために、設定値「2」でお使いください。

！注意

- 厚紙や特殊紙に印刷する場合は、印刷領域に注意してください。ソフトウェアで印刷領域を設定する際、必ず印字推奨領域内で印刷するように設定してください。アジャストレバーの設定値が大きいとときに印字推奨領域外で印刷すると、プリントヘッドを損傷するおそれがあります。
- 表の値は目安です。用紙の厚さに対してアジャストレバーの設定値が大きすぎると、印刷がかすれたり、印刷抜けを起こす場合があります。逆に設定値が小さすぎると、インクリボンや用紙が傷んだり、用紙が汚れたり、用紙が正しく送られない場合があります。大量に印刷する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

連続紙の給紙と排紙

本製品は、プッシュトラクター（プリンター背面）から連続紙を給紙することができます。

☞ 本書 27 ページ「給紙経路と用紙」

！注意

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、次の操作は絶対にしないでください。

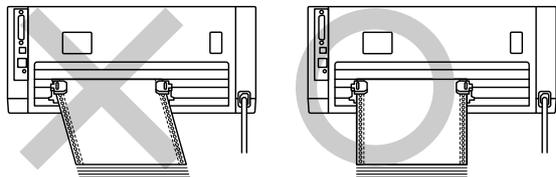
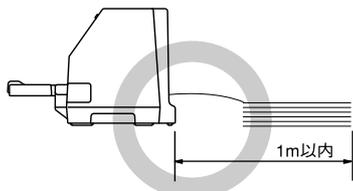
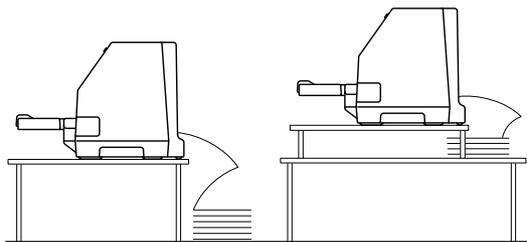
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態で、プッシュトラクターから用紙を外して引き抜く。
 - プリンターの電源を入れたまま、[給紙 / 排紙] ボタンを押し、用紙が完全に排紙されない状態で、用紙を引き抜く。
- 連続ラベル紙の排紙方法については注意が必要です。

☞ 本書 32 ページ「ラベル紙の排紙」

連続紙の給紙

プリンター背面から連続紙を給紙します。

連続紙をスムーズに給紙するために、以下のような配置でプリンターをお使いください。

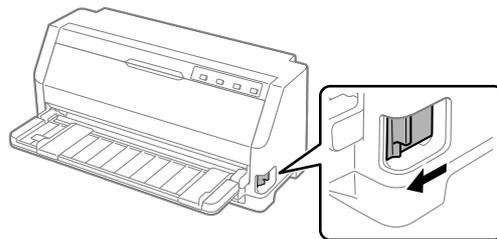


参考

- 連続紙が机の角やケーブルに触れると印刷位置がずれる場合がありますので、触れないようにプリンターを配置してください。
- 連続紙が引っかからないよう、プリンターに対してまっすぐ給紙してください。
- 連続紙が箱に入っていて給紙しにくい場合は、箱から取り出して置いてください。

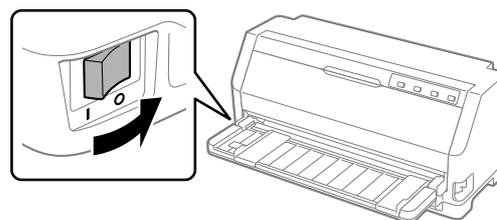
1

リリースレバーを連続紙側 (👉) にスライドさせます。



2

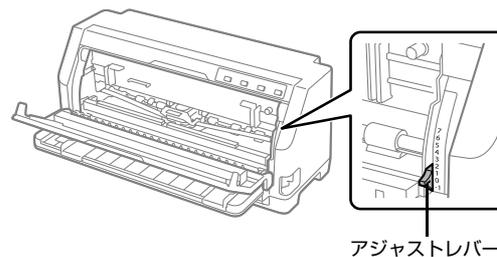
プリンターの電源を切ります。



3

プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを設定します。

☞ 本書 29 ページ「アジャストレバーの設定」

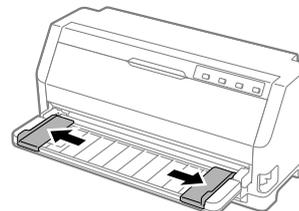


⚠注意

印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

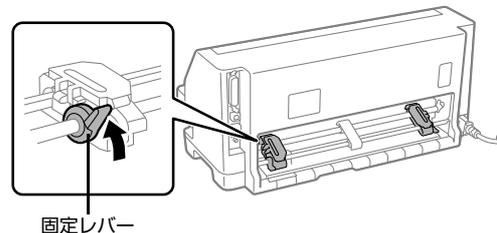
4

エッジガイドを左右いっぱいに広げます。

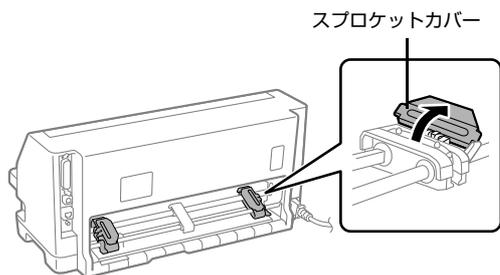


5

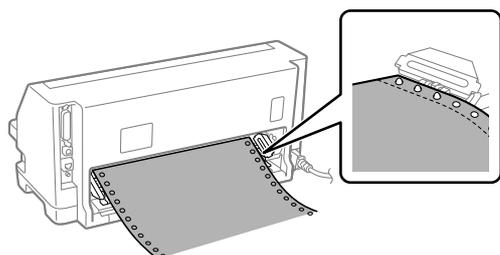
スプロケット（左右）の固定レバーを上げてロックを解除します。



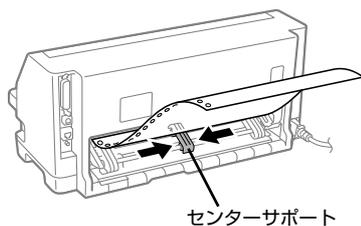
6 スプロケットカバーを開けます。



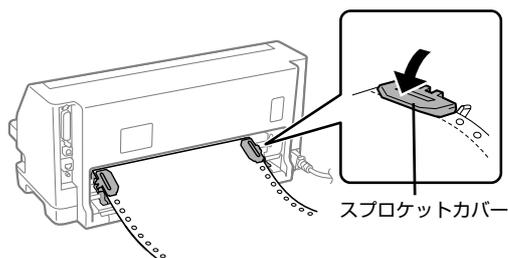
7 スプロケットに連続紙をセットします。



8 センターサポートが用紙サイズ幅の中央になるように調整します。

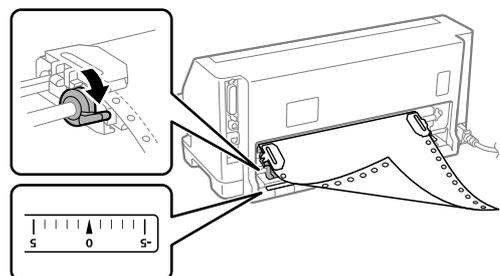


9 スプロケットカバー（左右）を閉じます。

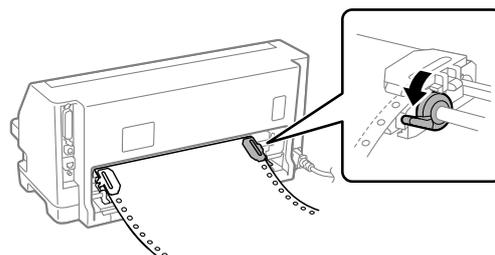


10 スプロケット(左)の位置を調整し、固定します。プリンター背面の矢印(▲)の位置が1桁目の印刷開始位置となります。

用紙に合わせてスプロケットの位置を調整し、固定レバーを下げてロックします。



11 スプロケット(右)の固定レバーを下げてロックします。



12 プリンターの電源を入れます。

[印刷可] ランプが点灯します。印刷データを受信すると用紙は自動給紙されて、印刷を開始します。

！注意

- 連続紙が給紙されない場合は、連続紙をセットし直してください。
- 連続紙が斜めに給紙された場合は、電源を切ってから用紙を取り除き、連続紙をセットし直して給紙してください。
- プリンターの電源を入れたまま、連続紙がプリンター内に給紙された状態でプッシュトラクターから用紙を外して引き抜いたりしないでください。印刷開始位置がずれたり、プリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。

参考

- 印刷する前に以下を設定してください。
 - プリンタードライバー経由で印刷する場合は、連続紙の用紙サイズを設定してください。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「Windows で印刷する」 - 「設定項目」
 - DOS 環境で印刷する場合は、連続紙のページ長とミシン目スキップを設定してください。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「プリンター設定値の変更」 - 「操作パネルからの設定」
- DOS 環境で印刷している場合は、給紙位置を「微小送り機能」で微調整できます。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「用紙位置の微調整(微小送り)」
- ティアオフ機能を使用すると、印刷終了後に連続紙を簡単に切り離すことができ、また用紙の節約にもなります。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「連続紙の切り離し(ティアオフ)」

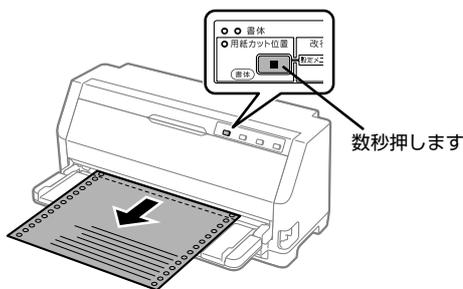
連続紙の排紙

プリンター前面から連続紙を排紙します。
ラベル紙を除く連続紙は以下の手順で排紙してください。

参考

- 下記の手順は手動ティアオフ機能を使用した場合です。自動ティアオフ機能が有効になっていると、印刷終了後に連続紙が自動でカット位置まで紙送りされます。設定方法は電子マニュアルの以下のページを参照してください。
☞ 『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）－「印刷できる用紙」－「ティアオフと微小送り」－「連続紙の切り離し（ティアオフ）」
- 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 35 ページ 「用紙が詰まったときは」

- 1 [用紙カット位置] ボタンを押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。



- 2 ミシン目の位置で連続紙を切り離します。



次の印刷を行うと、連続紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

参考

- [用紙カット位置] ボタンを押して連続紙を戻すこともできます。
- 電源を切るときは、[給紙 / 排紙] ボタンを押して連続紙をプッシュトラクター位置まで戻してください。給紙した状態で電源を切ると、次の印刷時に印字開始位置がずれることがあります。

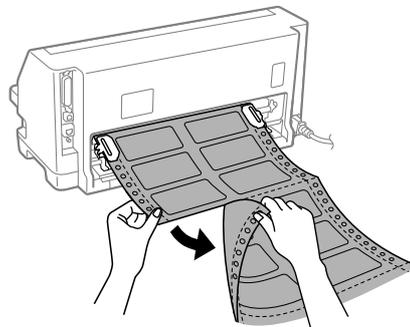
ラベル紙の排紙

印刷の終了したラベル紙を切り離すときは、必ず [改行 / 改ページ] ボタンを使用して、プリンター前面から排紙してください。ティアオフ機能 ([用紙カット位置] ボタン、[給紙 / 排紙] ボタン) は使用しないでください。

！注意

ラベル紙を、[用紙カット位置] ボタン、[給紙 / 排紙] ボタンを使用するなどしてプリンター背面より引き抜くと、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こすことがあります。ラベル紙はトラクターユニット位置で用紙を切り離してから、[改行 / 改ページ] ボタンを押してプリンター前面から排紙してください。

- 1 印刷が終了したら、印刷に使用しないラベル紙をプリンター後方で切り離します。



- 2 [改行 / 改ページ] ボタンを押して、連続ラベル紙を前方へ排紙します。

単票紙の給紙と排紙

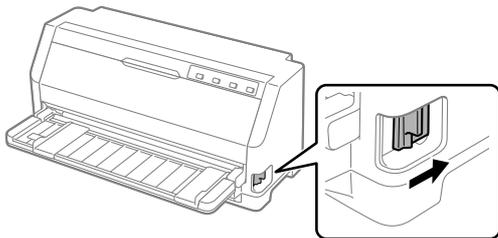
単票紙は用紙ガイドから 1 枚ずつ給紙することができます。

用紙の表面がなめらかで良質のものを使用してください。

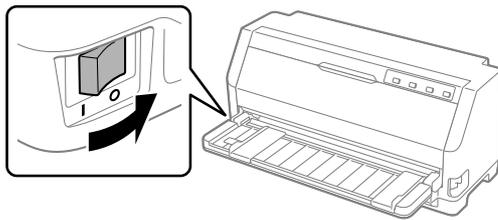
！注意

印刷開始位置がずれたりプリンター内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となりますので、プリンターの電源を入れたまま、用紙を引き抜かないでください。

- 1 リリースレバーを単票紙側 (□) にスライドさせます。

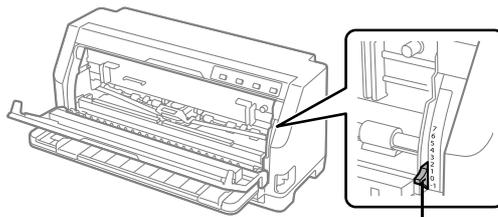


- 2 プリンターの電源を切ります。



- 3 プリンターカバーを開けて、アジャストレバーを設定します。

☞ 本書 29 ページ 「アジャストレバーの設定」

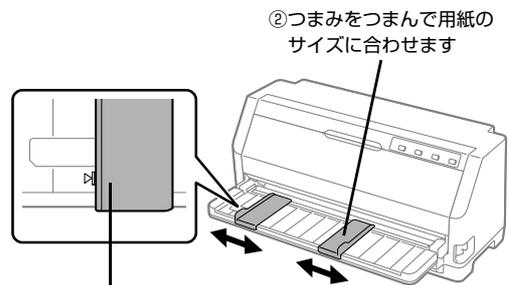


アジャストレバー

⚠注意

印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

- 4 エッジガイド (左) を用紙ガイドのマーク (▷) に合わせ、エッジガイド (右) を単票紙の幅に合わせます。



①つまみをつまんでマークを合わせます

②つまみをつまんで用紙のサイズに合わせます

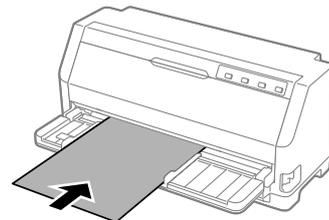
参考

エッジガイドの位置によって、印刷時の左マージンが決まります。ソフトウェアで設定する左マージンと実際の左マージンが異なっている場合は、エッジガイドの位置を再調整してください。

- 5 プリンターの電源を入れます。

- 6 [印刷可] ランプが点灯していることを確認して、単票紙を手差し給紙します。

エッジガイドに沿って、用紙の先端が奥に当たるまでしっかり差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。印刷データを受信すると印刷を開始します。



参考

- DOS 環境でご使用の場合、給紙位置は微小送り機能を使用して微調整できます。
☞ 『取扱説明書 詳細編』(電子マニュアル) - 「印刷できる用紙」 - 「ティアオフと微小送り」 - 「用紙位置の微調整 (微小送り)」
- プリンタードライバー経由で印刷している場合は、給紙位置の調整はできません。お使いのアプリケーション上で余白の設定を行ってください。

- 7 印刷が終了すると単票紙は自動的に排紙されます。プリンター内に用紙が残っている場合は、[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。

参考

- 単票ラベル紙やハガキのセット方法は、単票紙と同じです。
☞ 本書 33 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
- 用紙が詰まった場合は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 35 ページ 「用紙が詰まったときは」

連続紙と単票紙の切り替え

プッシュトラクターに連続紙をセットしたまま、連続紙の給紙と単票紙の給紙を切り替えて単票紙に印刷することができます。

連続紙から単票紙への切り替え

参考

連続紙の先端がプッシュトラクターの位置にある場合は、**4**から進めてください。

- 1** 連続紙の印刷が終了したら、**【用紙カット位置】ボタン**を押して連続紙をミシン目カット位置まで送り出します。

連続紙がミシン目カット位置まで紙送りされます。ティアオフ機能を自動に設定している場合は**【用紙カット位置】**ボタンを押す必要はありません。

- 2** 連続紙を切り離します。

！注意

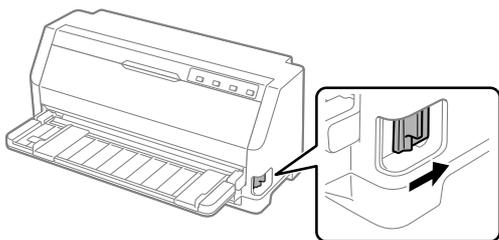
- 印刷が終わった連続紙は、ティアオフ機能を使ってミシン目で切り離してください。切り離さずに何ページも逆送りすると、紙詰まりを起こします。
- ラベル紙を使用するときは、絶対にティアオフ機能を使用しないでください。印刷開始位置へ逆戻りするときに、ラベルが台紙からはがれて紙詰まりを起こします。プッシュトラクターの位置で給紙前のラベル紙を切り離し、プリンター内に残ったラベル紙は**【改行 / 改ページ】**ボタンを押してプリンター前面から排紙します。再びラベル紙を使用するときは、プッシュトラクターにセットし直してください。

- 3** **【給紙 / 排紙】**ボタンを押します。セットした連続紙はプッシュトラクターの位置まで戻りますが、プッシュトラクターからは外れません。

！注意

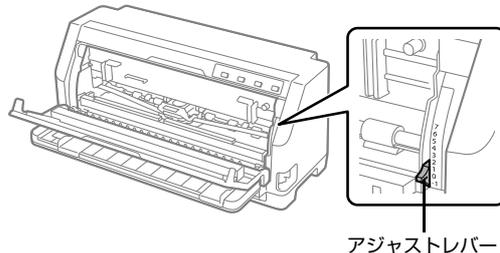
ラベル紙使用時は連続紙と単票紙の切り替えはできません。

- 4** リリースレバーを単票紙側 () にスライドさせます。



- 5** 連続紙と単票紙で厚さが異なるときは、**アジャストレバー**を設定し直します。

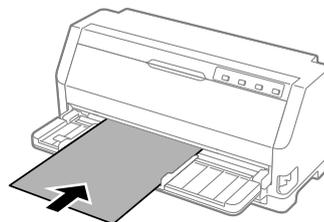
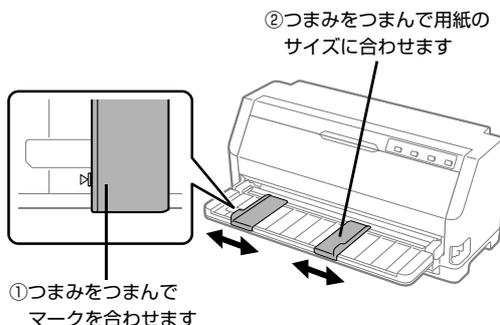
 本書 29 ページ 「アジャストレバーの設定」



- 6** エッジガイド (左) を用紙ガイドのマーク () に合わせ、エッジガイド (右) を単票紙の幅に合わせます。

エッジガイドを用紙幅に合わせてから、単票紙を奥まで差し込みます。用紙は自動的に給紙位置にセットされます。

 本書 33 ページ 「単票紙の給紙と排紙」

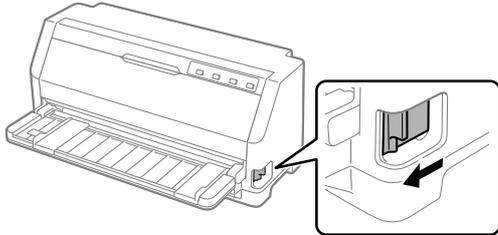


- 7** **印刷を実行します。**
印刷データを受信すると、セットされた単票紙を給紙して印刷を開始します。

単票紙から連続紙への切り替え

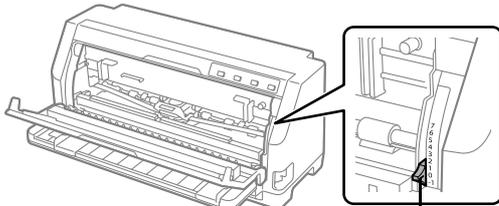
1 単票紙の印刷が終了したら、単票紙を取り除きます。印刷途中の用紙がプリンター内に残っている場合は、[給紙 / 排紙] ボタンを押して排紙します。

2 リリースレバーを連続紙側 () にスライドさせます。



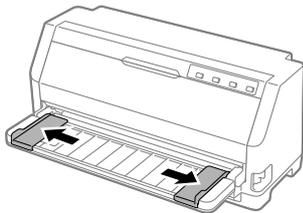
3 連続紙と単票紙で厚さが異なる場合は、アジャストレバーを設定し直します。

 本書 29 ページ 「アジャストレバーの設定」

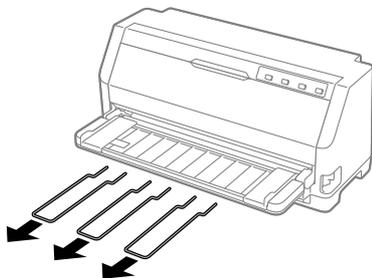


アジャストレバー

4 エッジガイドを左右いっばいに広げます。



5 用紙サポートを取り付けている場合は、取り外してください。



6 印刷を実行します。印刷データを受信すると、セットされた連続紙を給紙して印刷を開始します。

！注意

印刷データを送る前にプッシュトラクターに用紙がセットされていることを確認してください。

用紙が詰まったときは

プリンター内部で用紙が詰まった場合は、むやみに用紙を引っ張ったりせずに、次の手順で取り除いてください。

！注意

印刷終了直後はプリントヘッドが熱くなっています。プリントヘッドの温度が十分に下がるまでは触れないように注意してください。

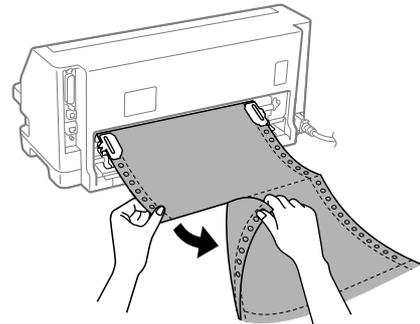
連続紙が詰まったときは

！注意

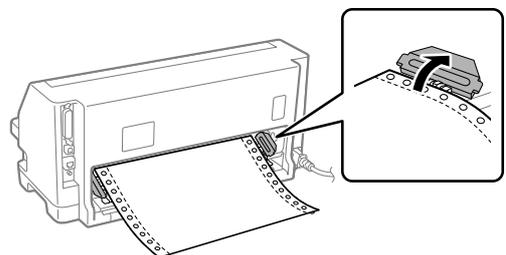
連続紙が詰まったときは、プッシュトラクター側（後方）から用紙を引き抜いてください。用紙ガイド側（前方）から用紙を引き抜くと、プリンター内部に用紙が残る可能性があります。

1 プリンターの電源を切ります。

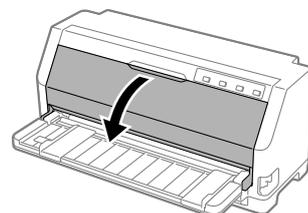
2 印字が完了している連続紙と給紙前の連続紙をミシン目で切り離します。



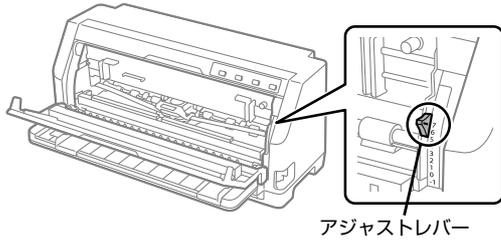
3 スプロケットカバーを開けます。



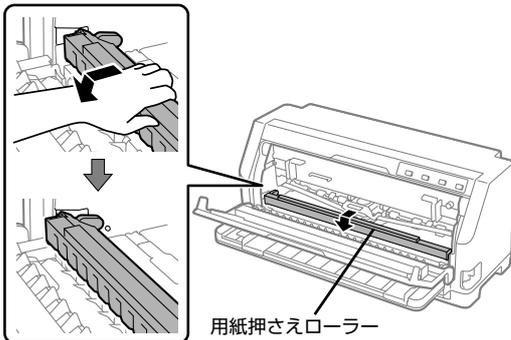
4 プリンターカバー上部に指をかけ、ゆっくりと手前に倒してプリンターカバーを開けます。



5 アジャストレバーを「7」に設定します。

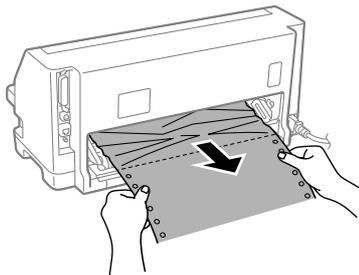


6 用紙押さえローラーを手前に引きます。
用紙押さえローラーの前部が下に沈み込んで固定されるまで引き出します。



7 リボンカートリッジを取り外します。
本書 39 ページ「リボンカートリッジの交換」の
手順 4 以降を参考にしてください。

8 詰まっている用紙をプッシュトラクター側から
引き抜きます。
プリンター内部に用紙が残っていないか確認してく
ださい。ラベル紙を使用している場合は、ラベルが
残っていないか確認してください。

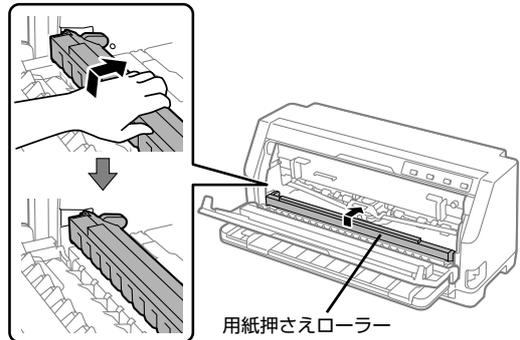


！注意

ラベル紙を使用している場合は、ラベルが台紙からは
がれないように注意してください。

9 リボンカートリッジを取り付けます。
本書 39 ページ「リボンカートリッジの交換」の
手順 7 以降を参考にしてください。

10 用紙押さえローラーを元の位置に戻します。
用紙押さえローラーを上を持ち上げると、後方に移動
し元の位置に戻ります。



11 アジャストレバーを元の設定に戻し、プリン
ターカバーを閉じます。

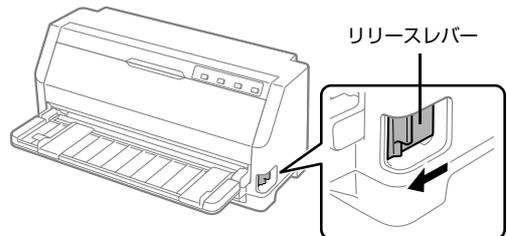
単票紙が詰まったときは

！注意

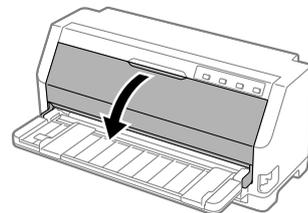
単票紙が詰まったときは、用紙ガイド側（前方）から用紙を
引き抜いてください。
プッシュトラクター側（後方）から用紙を引き抜くと、プリン
ター内部に用紙が残る可能性があります。

1 プリンターの電源を切ります。

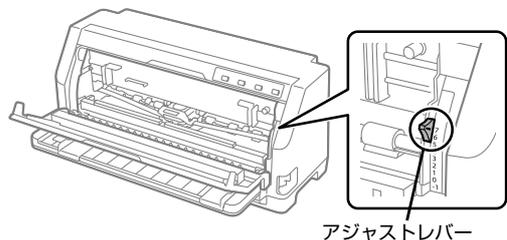
2 リリースレバーを単票紙側（）から連続紙側
（）にスライドさせます。



3 プリンターカバーを開けます。



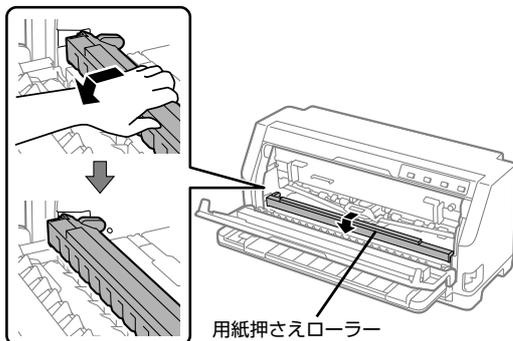
4 アジャストレバーを「7」に設定します。



5

用紙押さえローラーを手前に引きます。

用紙押さえローラーの前部が下に沈み込んで固定されるまで引き出します。



6

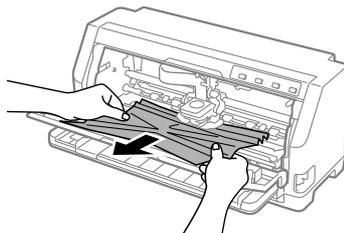
リボンカートリッジを取り外します。

本書 39 ページ 「リボンカートリッジの交換」の
手順 4 以降を参考にしてください。

7

詰まっている用紙をフロント側から引き抜きます。

プリンターカバーを開けて、プリンター内部に用紙が
残っていないか確認してください。ラベル紙を使用し
ている場合は、ラベルが残っていないか確認してください。



！注意

ラベル紙を使用している場合は、ラベルが台紙からは
がれないように注意してください。

8

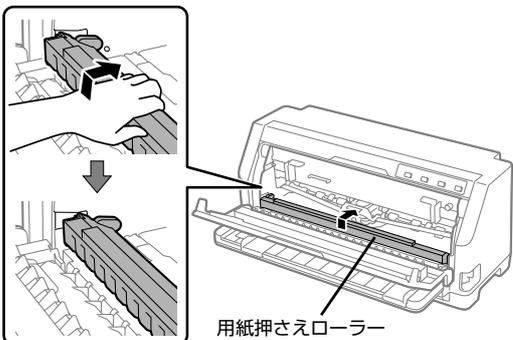
リボンカートリッジを取り付けます。

本書 39 ページ 「リボンカートリッジの交換」の
手順 7 以降を参考にしてください。

9

用紙押さえローラーを元の位置に戻します。

用紙押さえローラーを上を持ち上げると、後方に移動
し元の位置に戻ります。



10

リリースレバーとアジャストレバーを元の設定
に戻し、プリンターカバーを閉じます。

プリンター内部に用紙が残ったときは

「連続紙が詰まったときは」または「単票紙が詰まったときは」の手順を行ってもプリンター内部に用紙が残ったときは、次の手順で取り除いてください。

1

プリンターの電源を切り、プリンターカバーを開けます。

2

アジャストレバーを「7」に設定します。

3

リボンカートリッジを取り外します。

☞ 本書 39 ページ 「リボンカートリッジの交換」

4

リリースレバーを連続紙側 () にスライドさせます。

5

簡単に取り除ける範囲の紙片を取り除きます。

紙片を取り除く際は、プリントヘッドを左右に動かしても問題ありません。

6

リリースレバーを単票紙側 () にスライドさせます。

7

プリンターカバーを閉じて、電源を入れます。

8

「給紙 / 排紙」ボタンを押して、用紙押さえローラーの下に残った紙片を送り出します。

9

プリンターの電源を切り、プリンターカバーを開け、残った紙片を取り除きます。

10

リボンカートリッジを取り付け、リリースレバーとアジャストレバーを元の設定に戻し、プリンターカバーを閉じます。

用紙詰まりの予防

用紙詰まりを発生させないように、以下の点に注意してください。

- 使用可能な用紙を使用してください。
☞ 本書 28 ページ 「印刷できる用紙」
- 用紙を正しくセットしてください。また、連続紙の置き方に注意してください。
☞ 本書 30 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
☞ 本書 33 ページ 「単票紙の給紙と排紙」
- アジャストレバーを用紙の紙厚に合わせて、正しい位置にセットしてください。
☞ 本書 29 ページ 「アジャストレバーの設定」
- 用紙ガイドにセットできる用紙枚数は単票紙は 1 枚のみ、単票複写紙は 1 部のみです。
- 許容枚数を超える用紙をセットしないでください。
- 連続ラベル紙を使用する場合は、用紙がなるべく直線になるような給紙経路にしてください。
☞ 本書 30 ページ 「連続紙の給紙と排紙」
- 連続紙をセットするときはスプロケットの間隔を適切にセットしてください。スプロケットの間隔が広すぎると紙の張りが強く、用紙のピン穴が破れ用紙詰まりの原因になります。スプロケットの間隔が狭すぎて用紙がたるんでいても用紙詰まりの原因となります。セットして長時間経過している連続紙は、印刷前に破れていないことを確認してください。

リボンカートリッジの交換

インクが薄くなって十分な印刷品質を得られなくなったときは、リボンカートリッジを交換してください。

参考

- リボンカートリッジは純正品（型番：VPF2000RC）のご使用をお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。
- リボンカートリッジを乱暴に扱うと印字不良の原因になりますので、ていねいに扱ってください。

注意

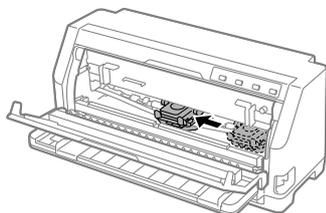
- リボンカートリッジ交換を行う前に、給紙されていないことを確認してください。
- リボンカートリッジ交換時は、プリンター内部の白いケーブルに触れないでください。



1

「印刷可」ランプが点灯していることを確認し、プリンターカバーを開けます。

プリントヘッドが自動的にリボンカートリッジ交換位置へ移動します。



注意

電源が入っている状態でプリンターカバーを開けるとブザーが鳴りますが、プリントヘッドが移動して停止するまでお待ちください。

2

プリントヘッドが中央付近の位置にあることを確認し、プリンターの電源を切ります。

注意

プリンターを使用した後はプリントヘッドが熱くなっていますので、プリントヘッドにはしばらく触らないでください。

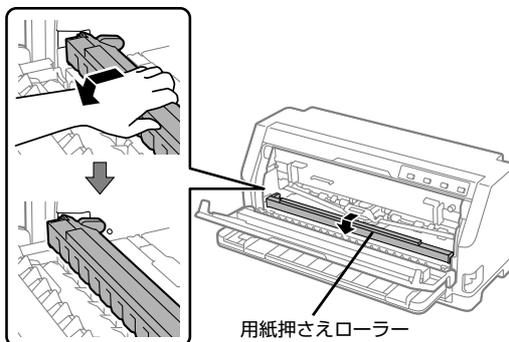
注意

プリンターの電源を入れた状態で以下の手順を行うと故障の原因になりますので、必ず電源を切った状態で行ってください。

3

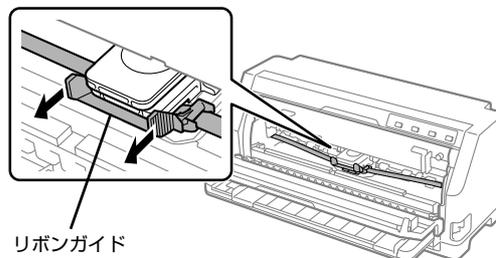
用紙押さえローラーを手前に引きます。

用紙押さえローラーの前部が下に沈み込んで固定されるまで引き出します。

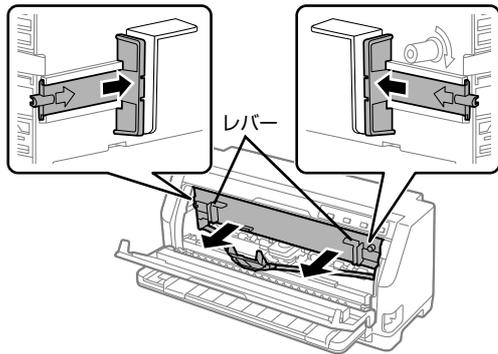


4

リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドから引き抜きます。



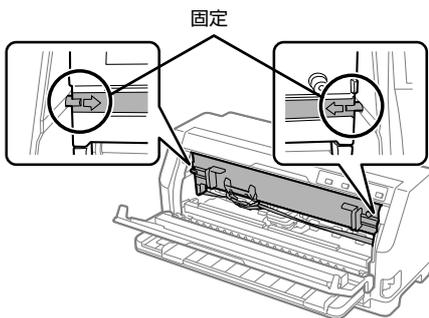
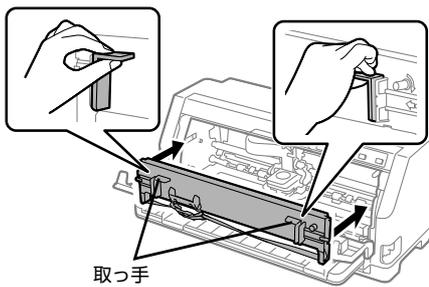
- 5 リボンカートリッジの左右のレバーを押さながら手前に取り外します。



- 6 新しいリボンカートリッジを用意します。

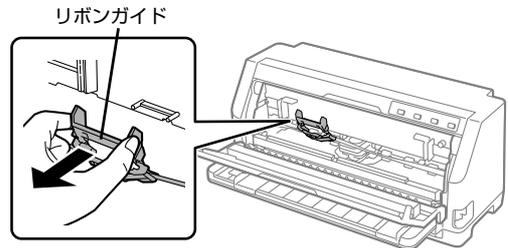
- 7 リボンカートリッジの左右の取っ手を持ち、プリンターに取り付けます。

プリンター両側の溝にリボンカートリッジの突起を合わせて、固定されるまで押し込みます。
リボンカートリッジの両端を軽く押して、傾きやがたつきのないことを確認してください。



- 8 リボンガイドをリボンカートリッジから外します。

リボンガイドの両端を持ち、手前に引いて外します。
(吹き出し内の図はリボンガイドを外した状態です。)

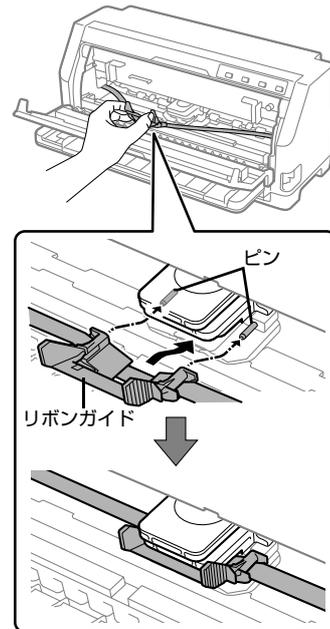


参考

リボンガイドの両端以外を持つと、インクで手が汚れる場合があります。

- 9 リボンガイドをプリントヘッドに取り付けます。

リボンガイドの両端を持ち、プリントヘッドのガイドのピンに合わせて止まるまで奥に押し込みます。



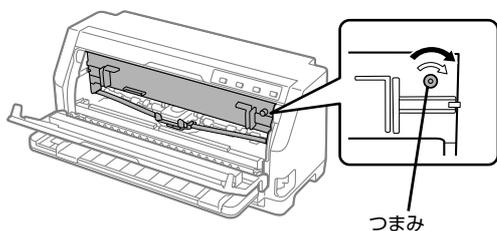
！注意

リボンガイドを押し込むとき、リボンがねじれないように注意してください。

10

リボンのたるみを取ります。

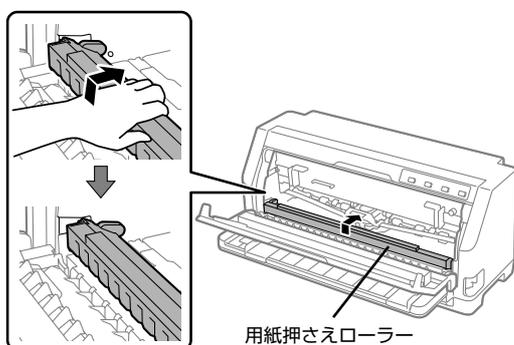
リボンカートリッジのつまみを矢印方向に回してリボンのたるみを取ります。リボンが自由に動くことを確認してください。



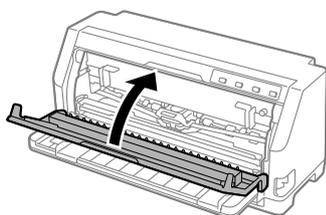
11

用紙押さえローラーを元の位置に戻します。

用紙押さえローラーを上を持ち上げると、後方に移動し元の位置に戻ります。



12

プリンターカバーを閉じます。**⚠️注意**

プリンターカバーがしっかり閉まらない場合、用紙押さえローラーが元の位置に戻っていないおそれがあります。手順「11」を再確認ください。

以上で終了です。

参考

- リボンカートリッジには、リボン交換用のリボンパックも用意されています。
- リボンパック（型番：VPF2000RP）は、リボンカートリッジ（型番：VPF2000RC）内部のリボンだけを交換するものです。1つのカートリッジにつき4回までリボン交換ができます。交換方法は、リボンパックに同梱されているマニュアルか個装箱上の記載を参照してください。
- リボンカートリッジとリボンパックの交換手順はエプソンのホームページ（<https://www.epson.jp/>）でもご案内しています。画面右上の検索欄に「リボンカートリッジ VP-F2100」と入力すると、対象のFAQが表示されます。
- 使用済みのリボンカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
- エプソンでは、宅配便などを利用した回収を進めています。詳細はエプソンのホームページで確認してください。<https://www.epson.jp/recycle/>
- 使用済みリボンカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用してください。
- 廃棄する場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

サービスとサポートのご案内

ここでは、本製品に同梱のソフトウェアディスクに収録されている『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）の紹介と使い方、弊社が提供しておりますサービス・サポートの概要を説明します。

電子マニュアルのご紹介と使い方

『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）には、本書に掲載されていない以下のような情報が説明されています。

- Windows から印刷する際の設定方法
- プリンターを共有するための設定方法
- 連続紙、複写紙の詳細な用紙仕様
- オプション品や消耗品の情報（取り付け方や使い方）
- 困ったときの対処方法
- プリンター本体の仕様

電子マニュアルを開くには Adobe® Reader® などの PDF 閲覧ソフトウェアが必要です。Adobe Reader は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe Reader のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

電子マニュアルはソフトウェアと同時にコンピューターにインストールされます。

デスクトップのアイコンをクリックするか、下記の手順で表示させてください。

プログラムを格納するフォルダー* から「Epson Software」 - 「EPSON Manuals」

*：OS のバージョンで変わります。

参考

PDF ファイルを開くと、画面左側に【しおり】があります。【しおり】の各タイトルをクリックすると、該当ページを直接開くことができます。また、調べたい語句を検索して、直接その掲載箇所へ移動することもできます。画面表示が小さい場合は、表示を拡大してご覧ください。また、すべてのページを印刷したり、必要なページだけを印刷したりしておく、いつでもすぐに調べることができるので便利です。操作方法の詳細は、PDF 閲覧ソフトウェアの【ヘルプ】をご覧ください。

各種サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートの概要は以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先 / アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	☎ 裏表紙「お問い合わせ先」
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設*してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタードライバーなどのソフトウェアは、バージョンアップされることがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	☎ エプソンのウェブサイト < https://www.epson.jp/ >
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書のPDFデータをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。MS-DOSでの操作方法などを説明した補足説明書のPDFデータは弊社のホームページからダウンロードしてください。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製品の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください（2022年5月現在）。	☎ 裏表紙「お問い合わせ先」
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	☎ 本書 44 ページ「保守サービスのご案内」

*：「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェアディスク』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず『取扱説明書 詳細編』（電子マニュアル）の「困ったときは」をよくお読みください。

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約や、エプソンサービスパックをお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申込み窓口（本書裏表紙をご覧ください）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、またはエプソン修理のお申込み窓口へお問い合わせください。エプソンの修理に関するお問い合わせ先は、本書裏表紙をご覧ください。

種類	概要	修理代金		お問い合わせ先
		保証期間内	保証期間外	
年間保守契約	出張保守	年間一定の保守料金		エプソン修理のお申込み窓口
	持込保守	年間一定の保守料金		
スポット出張修理	<ul style="list-style-type: none"> • お客様からご連絡いただいで数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが外向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 	有償 (出張料のみ)	出張料 + 技術料 + 部品代 修理完了後そのつどお支払いください	

種類	概要	修理代金		お問い合わせ先
		保証期間内	保証期間外	
持込 / 送付修理	修理故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	無償	基本料 + 技術料 + 部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	エプソン修理のお申込み窓口
ドア to ドアサービス	<ul style="list-style-type: none"> 指定の運送会社をご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。 	有償 (ドア to ドアサービス料金のみ)	有償 (ドア to ドアサービス料金 + 修理代)	ドア to ドアサービス受付電話

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万が一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：ウェブサイトが必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファクスするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

—メモ—

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI - A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、ネットワーク設定などの情報を消去してください。

ネットワーク設定の消去方法は以下をご覧ください。

🔗『ネットワークガイド』（電子マニュアル） - 「トラブルを解決する」 - 「設定の初期化」

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

アフターサポート・サービスのご案内

お問い合わせの前に

サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ (よくあるご質問)

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間の詳細はサポート情報サイトでご確認ください。

メールで相談する

epson.jp/mail/

電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8088

修理のお申し込み

対象製品など修理メニューの詳細はウェブサイトでご確認ください。 epson.jp/shuri/

出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Web で申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです(有償)。

Web で申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。

エプソンダイレクトショップ epson.jp/shop/

ご購入相談・ご注文窓口 0120-956-285

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。